

第2期保健事業実施計画(データヘルス計画) 健康課題、目標をイメージするシート

②上位目標を設定する【重大な疾患の発症を防ぐ】(10年以上経過後に達する目標) 循環器系疾患の1人当たり医療費を全国平均以下とする

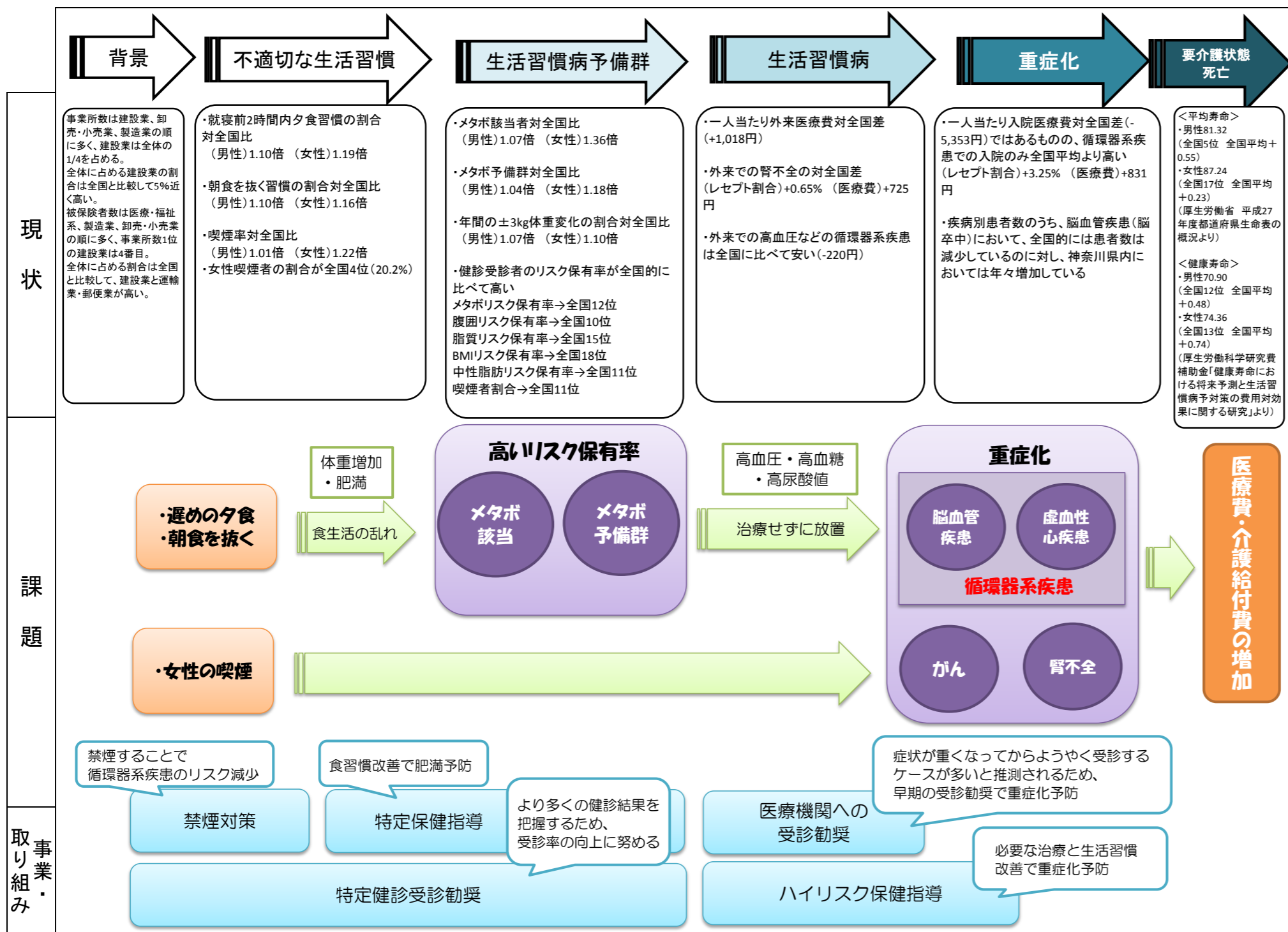
③中位目標を設定する【検査値等が改善する】(6年後に達成する目標) ・メタボリックシンドローム該当者の割合を全国平均以下にする
・健診のリスク保有率を全国平均以下にする

①対策を図る健康課題を絞る

Zスコア等の分析結果や他情報から健康課題やそれ以外に気になること(自支分の特徴などを診る)

④中位目標達成に近づくための下位目標を設定する

生活習慣や実施率等がどのように変われば期待する成果に近付けるか?(数値目標)



事業名	優先順位	下位目標	実施年度
特定健診	1	特定健診受診率(被保険者)を51%以上とする 特定健診受診率(被扶養者)を20%以上とする	30~35年度
特定保健指導	2	特定保健指導実施率を14.5%以上とする	30~35年度
重症化予防	3	未治療者に対する受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を15%以上とする	30~35年度
健康経営	4	健康企業宣言事業所を300件(50件/年)増やす	30~35年度
その他保健事業	5	喫煙者の割合を30%以下にする	30~35年度

データヘルス計画(案)

平成30～35年度

全国健康保険協会神奈川支部データヘルス計画

保険者体制

支部長	企画総務部長	業務部長	企画総務グループ		保健グループ		業務部
			グループ長	職員2名	グループ長	職員2名	職員2名

上位目標

【重大な疾患の発症を防ぐ】

循環器系疾患の1人当たり医療費を全国平均以下とする。



中位目標

【検査値等が改善する】

- メタボリックシンドローム該当者の割合を全国平均以下にする。
- 健診のリスク保有率を全国平均以下にする。



全国健康保険協会神奈川支部データヘルス計画

下位目標 【数値目標】

【特定健診】 特定健診受診率（被保険者）を51%以上とする

【特定健診】 特定健診受診率（被扶養者）を20%以上とする

【特定保健指導】 特定保健指導実施率を14.5%以上とする

【重症化予防】 未治療者に対する受診勧奨後3か月以内に
医療機関を受診した者の割合を15%以上とする

【健康経営】 健康企業宣言事業所を300件（50件/年）増やす

【その他保健事業】 喫煙者の割合を30%以下にする



1.神奈川支部基本情報(まとめ)

《適用状況》

- 適用事業所数・加入者数ともに全国第3位の伸び【図1-1】
- 経年推移をみても、伸び率が変わらずに年々増え続けている【図1-2】

《産業別傾向》

- 産業別の事業所数でみた場合、神奈川支部の割合トップ3は建設業、卸売・小売業、製造業であり、1位の建設業は全体の約4分の1を占める。【図1-5】
- 被保険者数でみた場合は、神奈川支部のトップ3は医療・福祉系、製造業、卸売・小売業となり、事業所数割合トップの建設業は4番目になる。【図1-6】
- 事業所数の経年推移をみると、トップの建設業が毎年顕著に伸びているのがわかる。また、不動産・物品賃貸業の伸び率も顕著である。【図1-7】
- 被保険者数の経年推移をみると、2位の製造業のみ唯一低下傾向である。伸び率としては卸売・小売業および建設業が顕著である。【図1-8】
- 全国的にみても事業所数のトップは建設業であり、加えて神奈川は全国に比べ占める割合が5%近くも高い。【図1-10】
- 全国の被保険者数と比較すると、建設業と運輸業・郵便業が全国に比べ占める割合が高い。【図1-11】



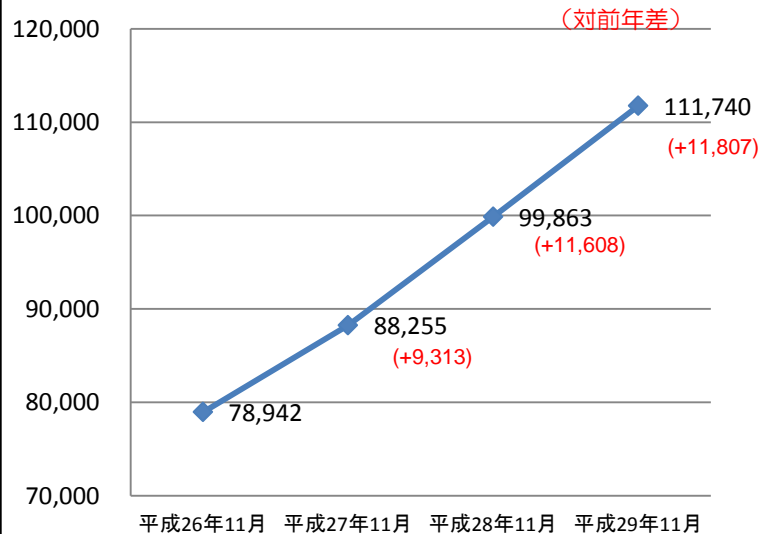
1-1.神奈川支部基本情報(適用状況)

【図1-1】現在適用状況

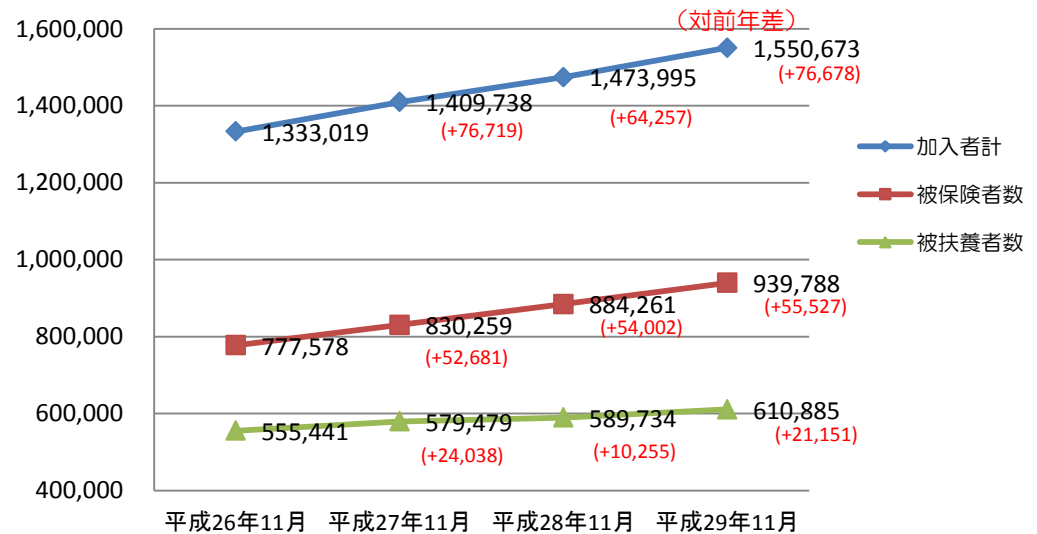
	適用事業所数	被保険者数	被扶養者数	加入者計	平均標準報酬月額
平成29年11月	111,740 事業所	939,788 人	610,885 人	1,550,673 人	317,958 円
前年比 (全国平均)	+11.9% (+6.7%)	+6.5% (+3.7%)	+3.6% (+0.7%)	+5.2% (+2.5%)	+0.7% (+0.9%)
伸び率順位	全国 3 位	全国 4 位	全国 2 位	全国 3 位	全国 40 位

【図1-2】経年推移

適用事業所数推移

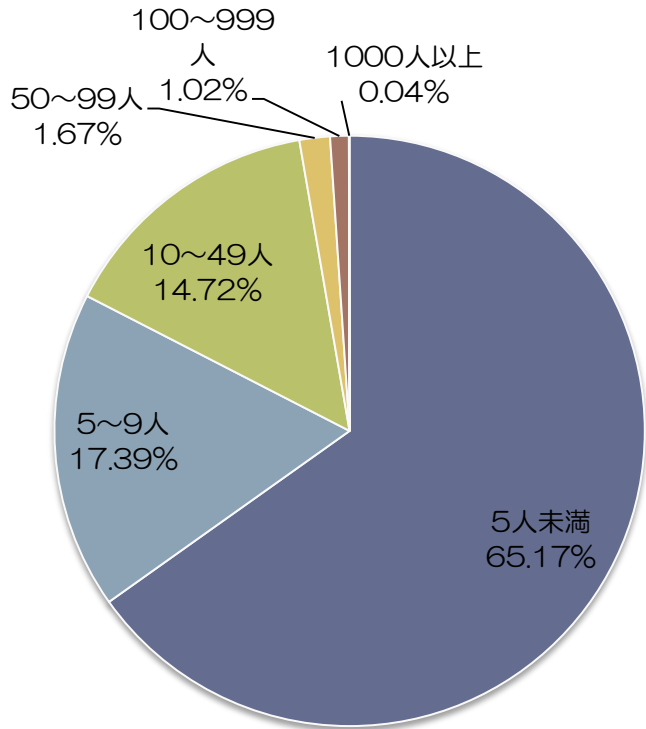


加入者数推移

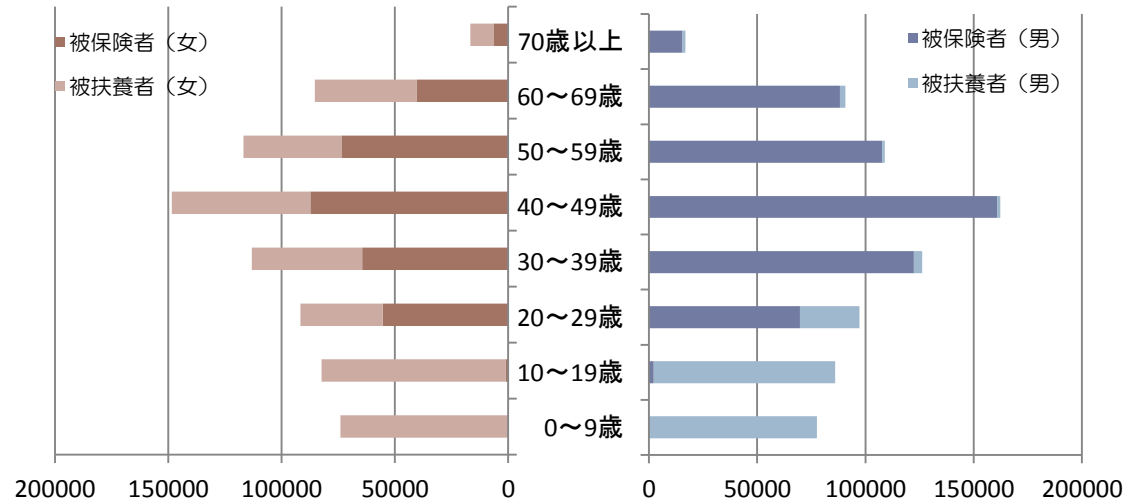


1-2.神奈川支部基本情報(規模・年齢別)

【図1-3】 28年度規模別適用状況

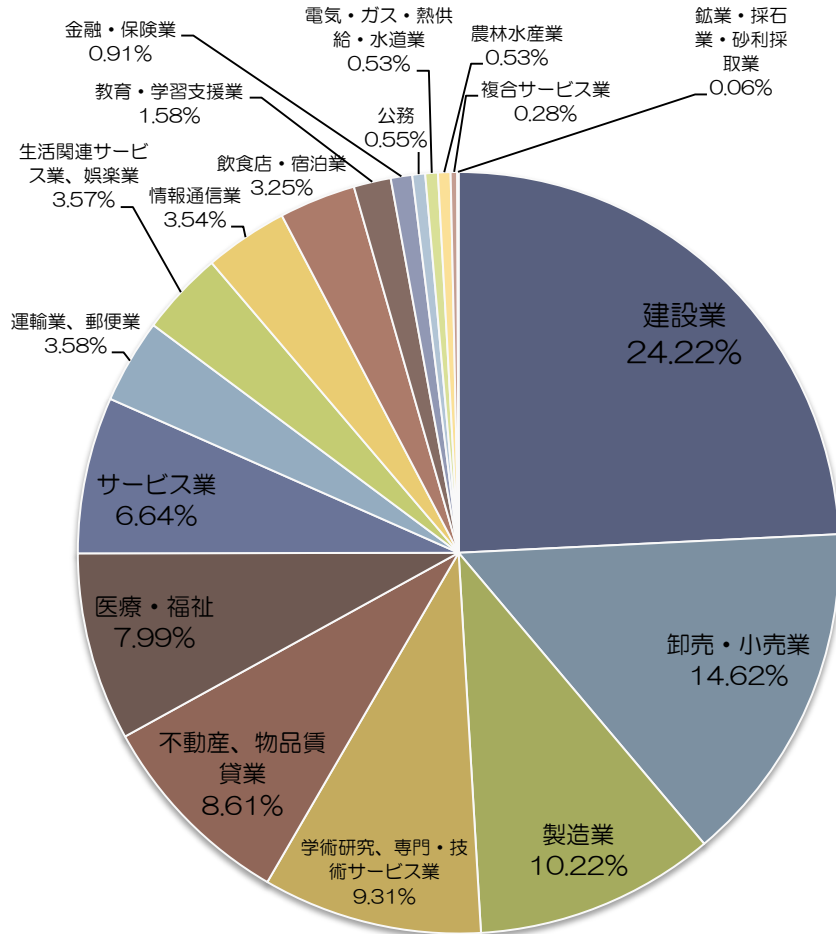


【図1-4】 28年度年齢別加入者

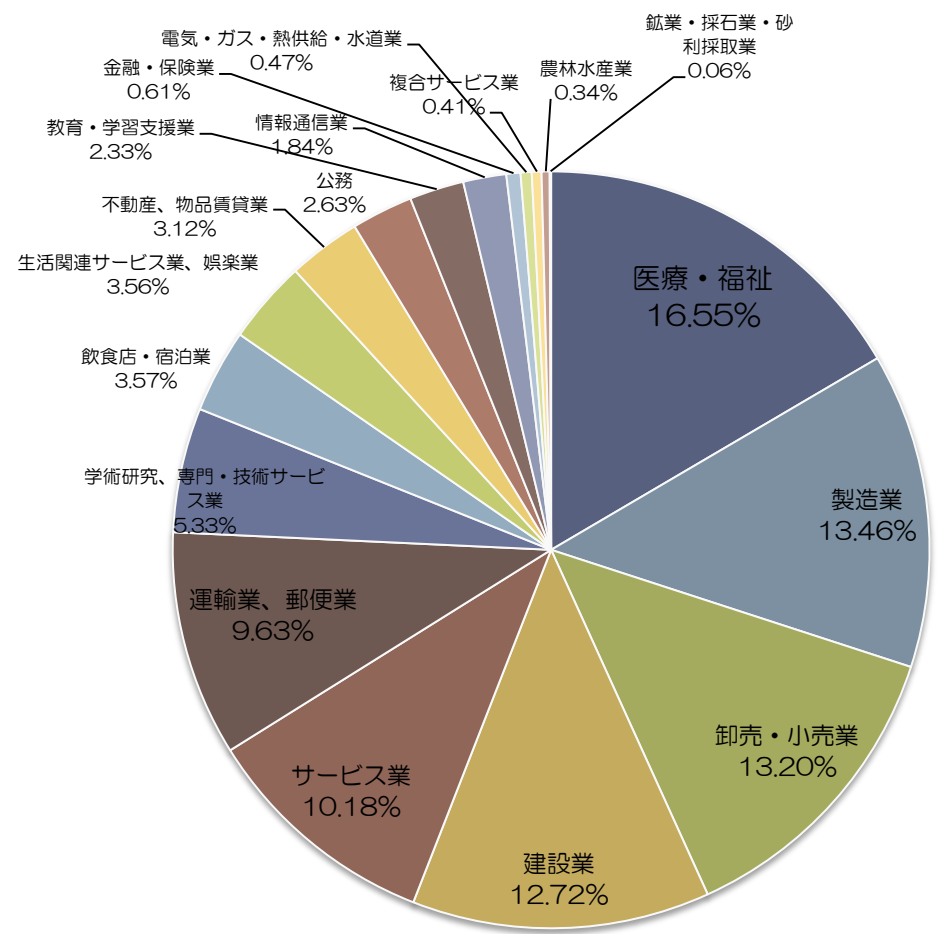


1-3.神奈川支部基本情報(産業別)

【図1-5】 28年度産業別適用事業所数

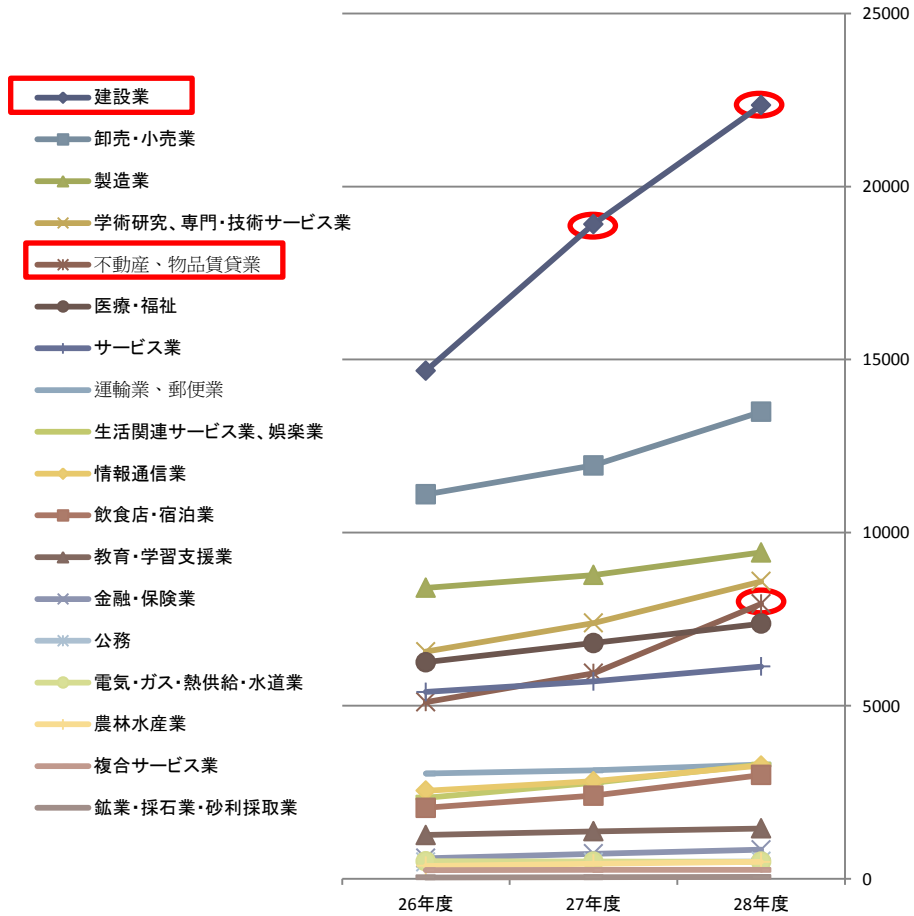


【図1-6】 28年度産業別被保険者数

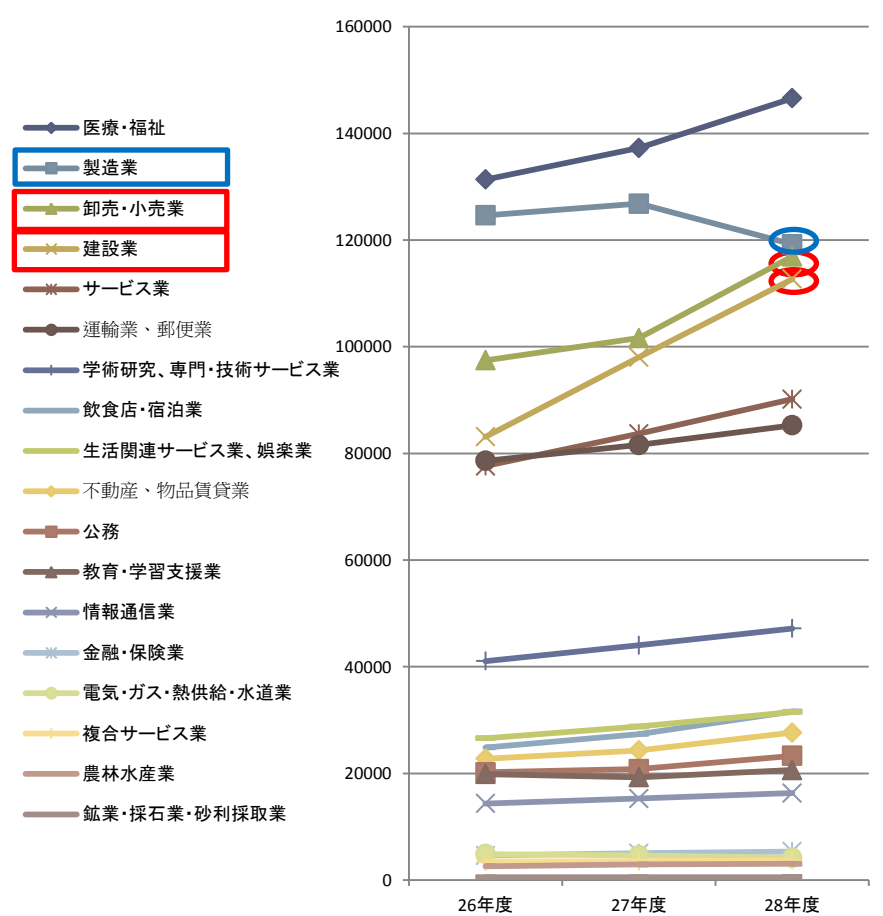


1-3.神奈川支部基本情報(産業別)

【図1-7】 産業別適用事業所数経年推移

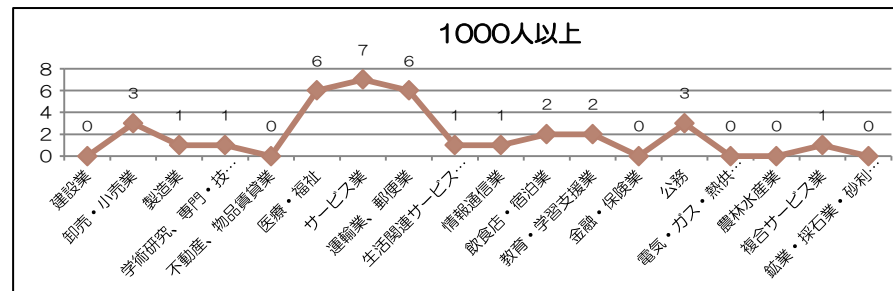
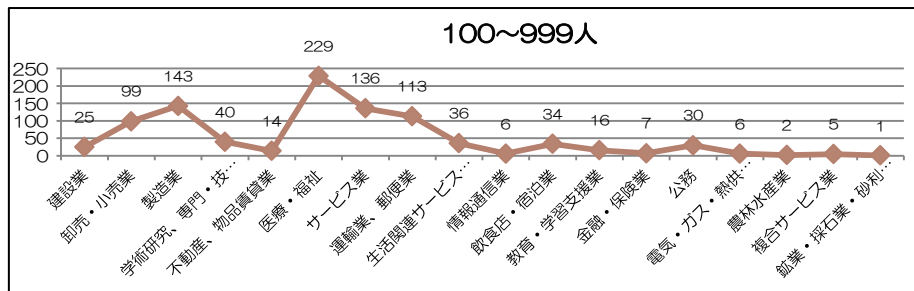
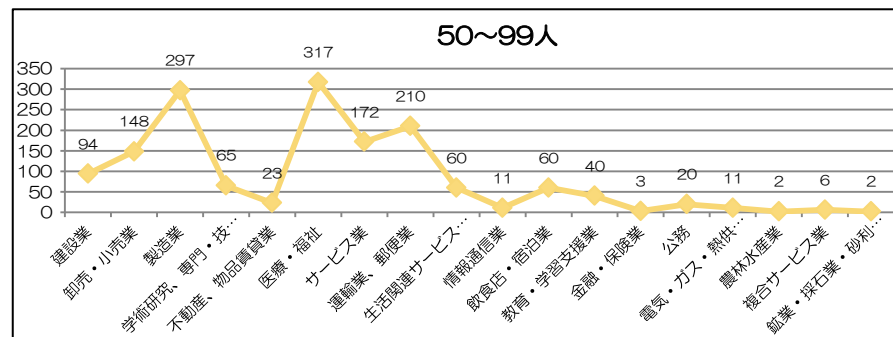
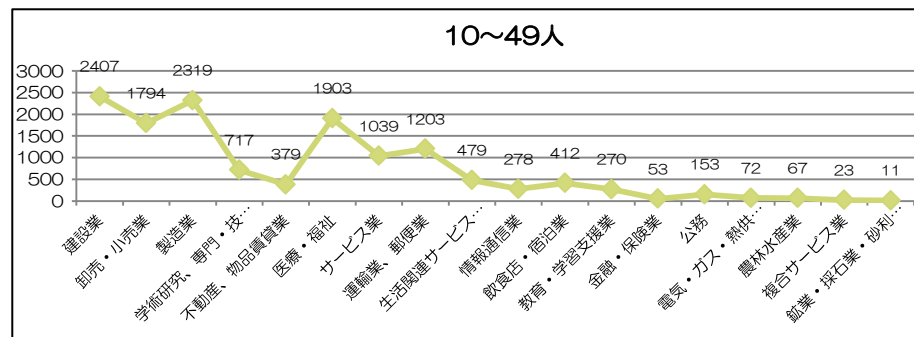
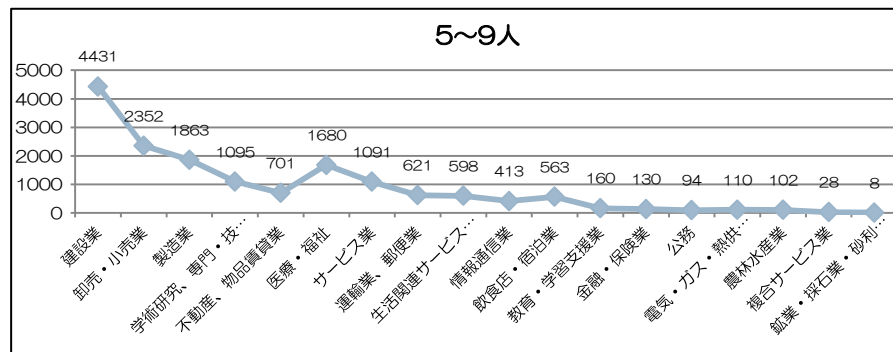
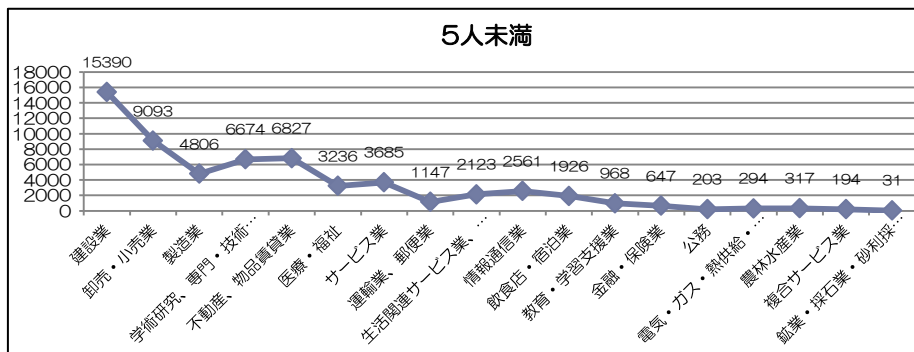


【図1-8】 産業別被保険者数経年推移



1-3.神奈川支部基本情報(産業別)

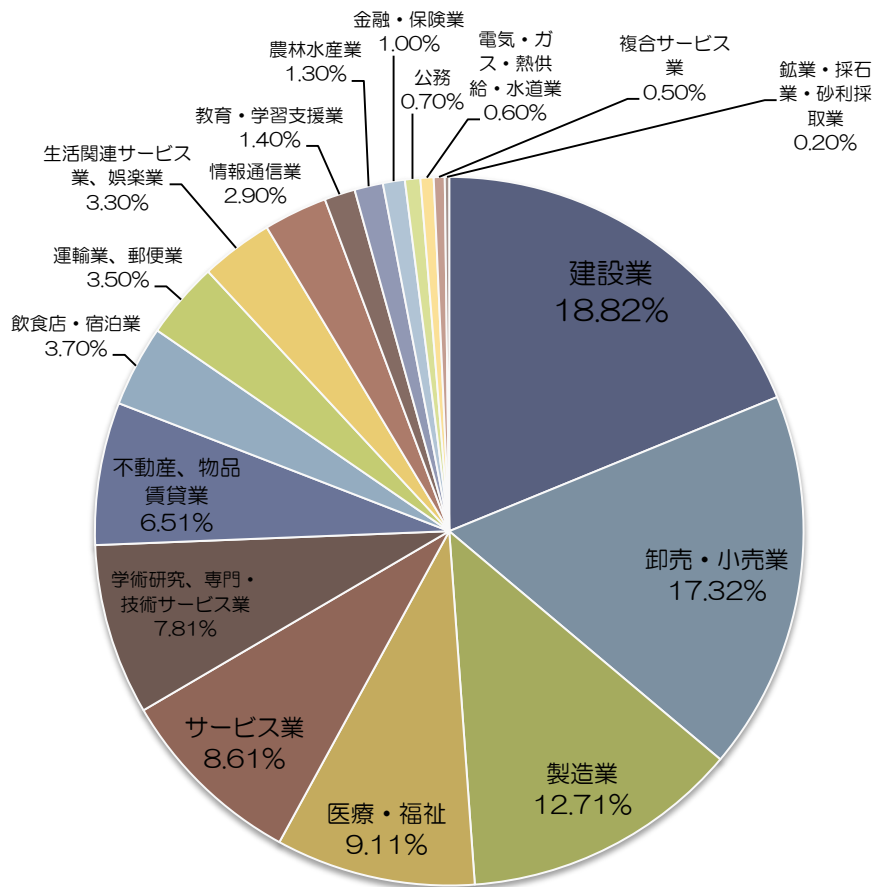
【図1-9】28年度規模別・産業別適用事業所数



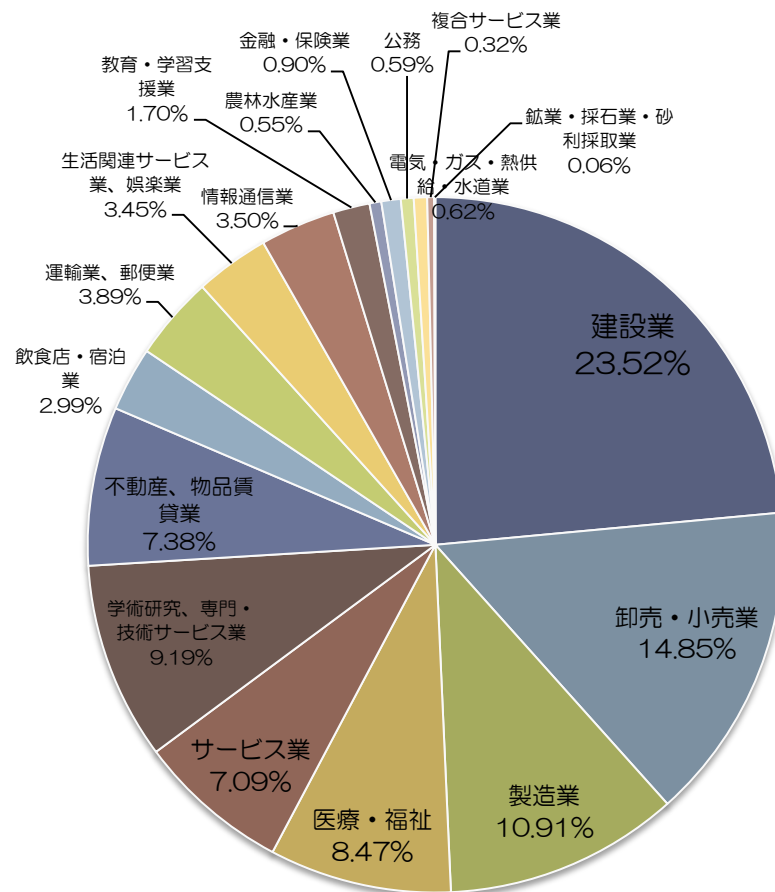
1-3.神奈川支部基本情報(産業別)

【図1-10】 27年度産業別適用事業所数全国比較

全国



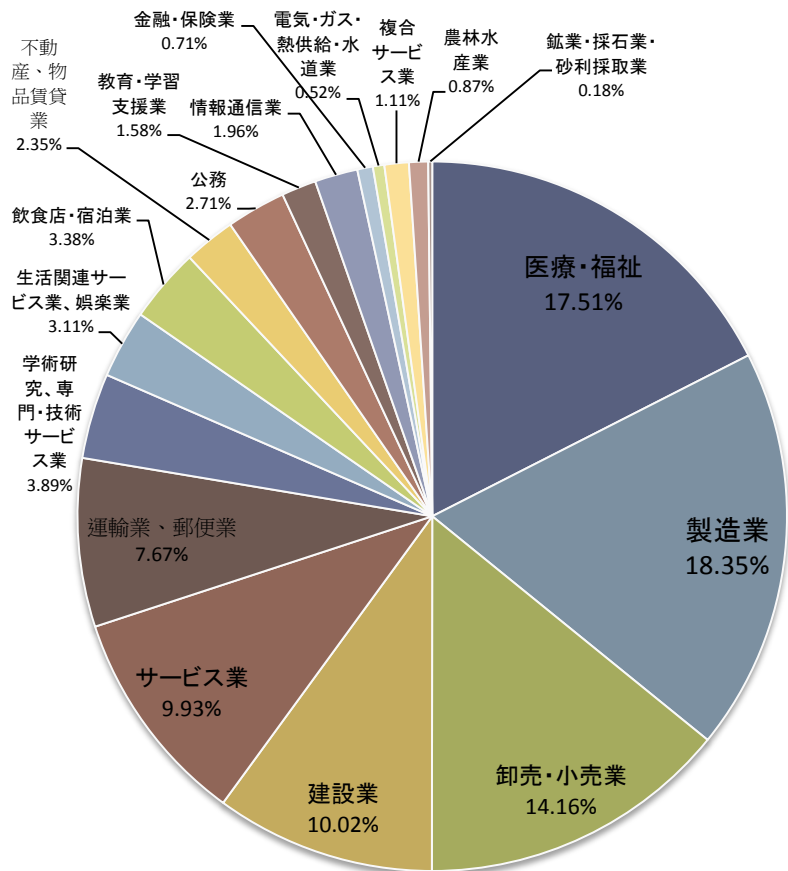
神奈川



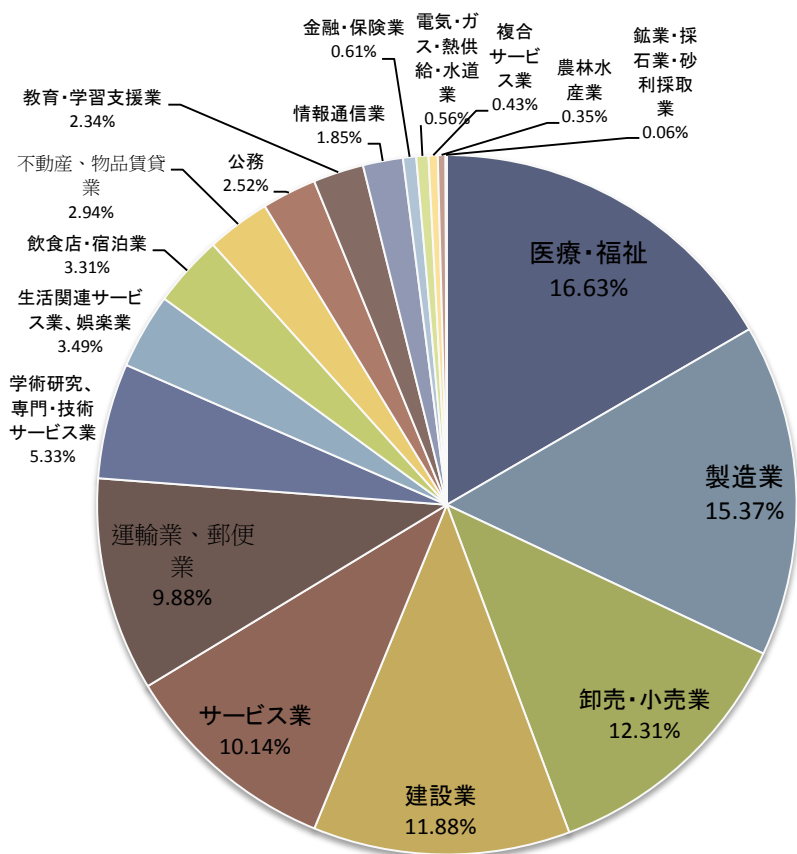
1-3.神奈川支部基本情報(産業別)

【図1-11】 27年度産業別被保険者数全国比較

全国



神奈川



2.医療費情報(まとめ)

《一人当たり医療費》

- 外来は全国19位で平均以上となっている【図2-1】
 - 入院は全国39位で平均より下回っている【図2-2】
 - 産業別にみると28年度は不動産・物品賃貸業が外来・入院ともにトップ。経年の伸び率も右肩上がり【図2-3】【図2-4】【図2-5】【図2-6】
- ※【図2-6】被保険者数の少ない産業（比率1%以下）は一人当たり医療費が安定しない

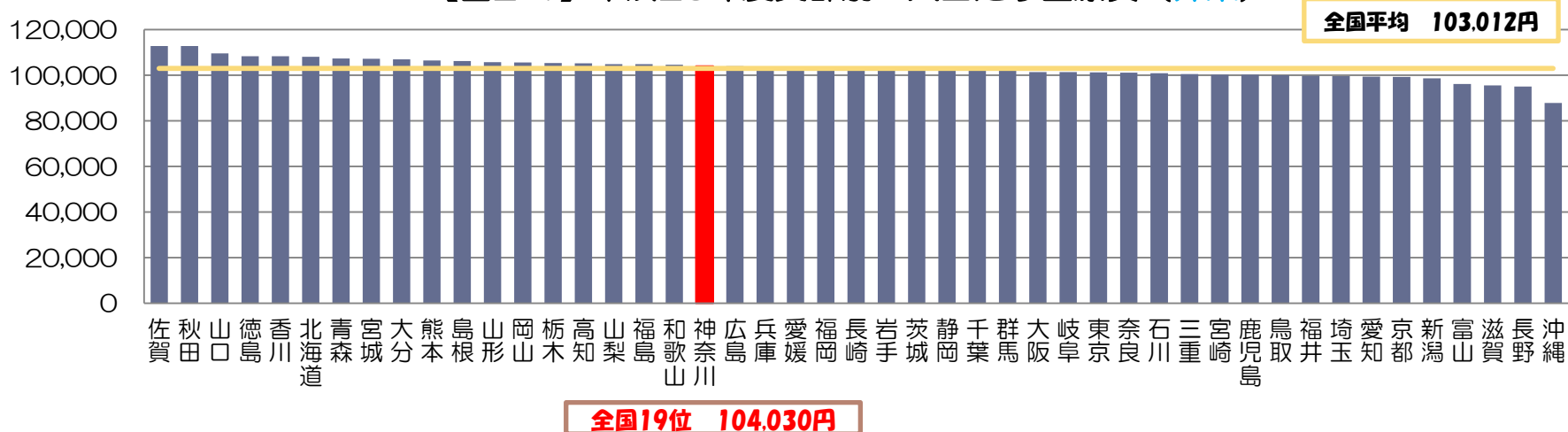
《疾病別医療費》

- 外来では腎不全がレセプト割合・一人当たり医療費が全国に比べて高い。件数も伸びている。【図2-7】【図2-8】【図2-9】
- 腎不全が高いため、大分類別にみても、外来は腎尿路生殖器系の疾患が全国に比べて高い。【図2-10】【図2-11】【図2-12】
- 入院では心疾患関連が全国に比べてレセプト割合・一人当たり医療費が高い。【図2-13】【図2-14】【図2-15】
- 入院の全国との一人当たり医療費差でプラスになっているのはすべて循環器系疾患であり【図2-14】、大分類でみても、入院はほぼ循環器系疾患のみがプラスに突出している【図2-16】【図2-17】【図2-18】

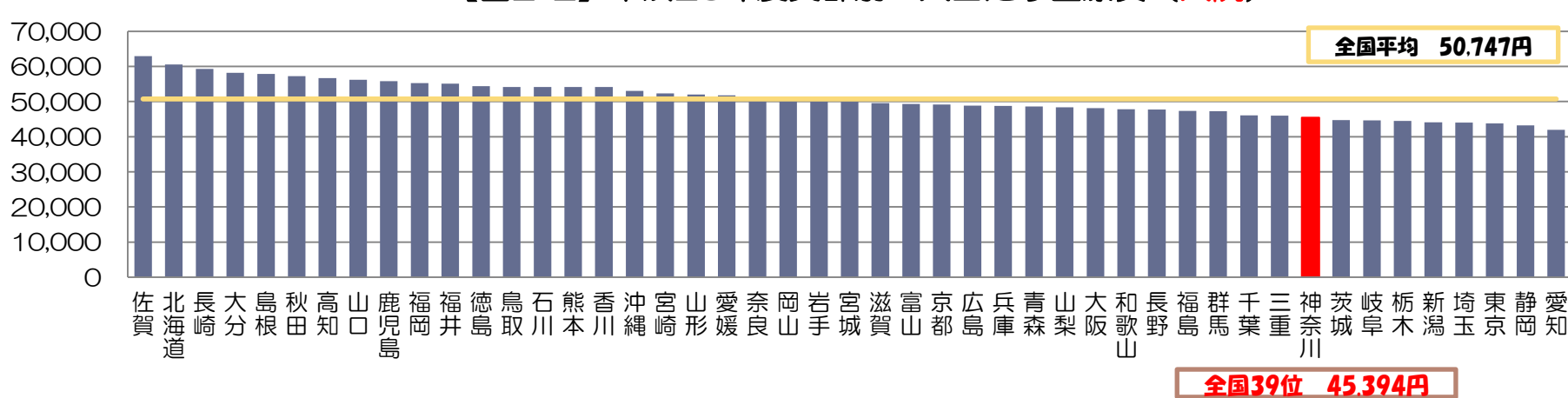


2-1.加入者一人当たり医療費

【図2-1】平成28年度支部別一人当たり医療費（外来）

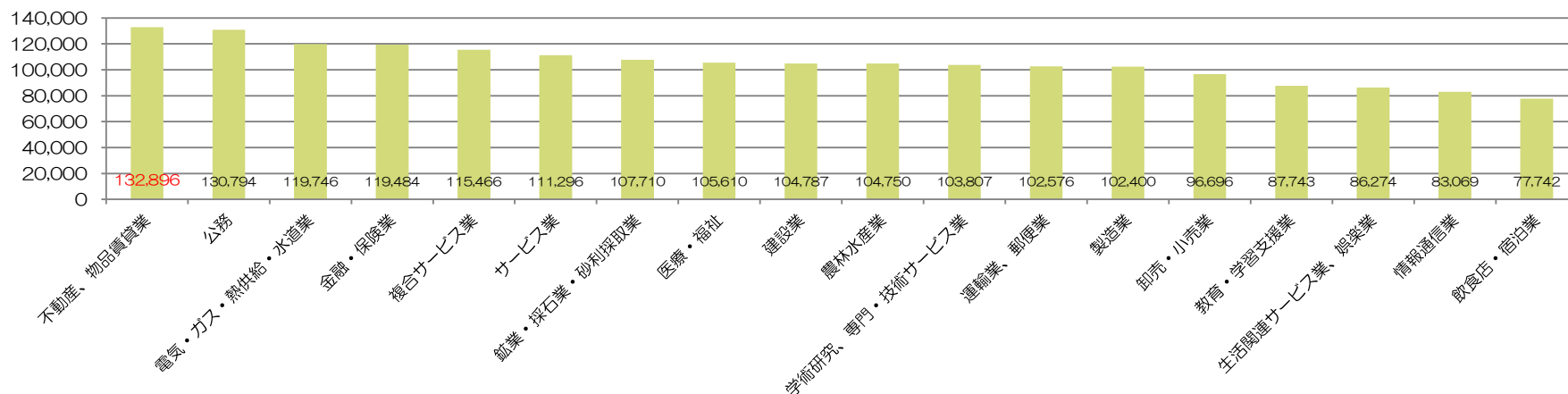


【図2-2】平成28年度支部別一人当たり医療費（入院）

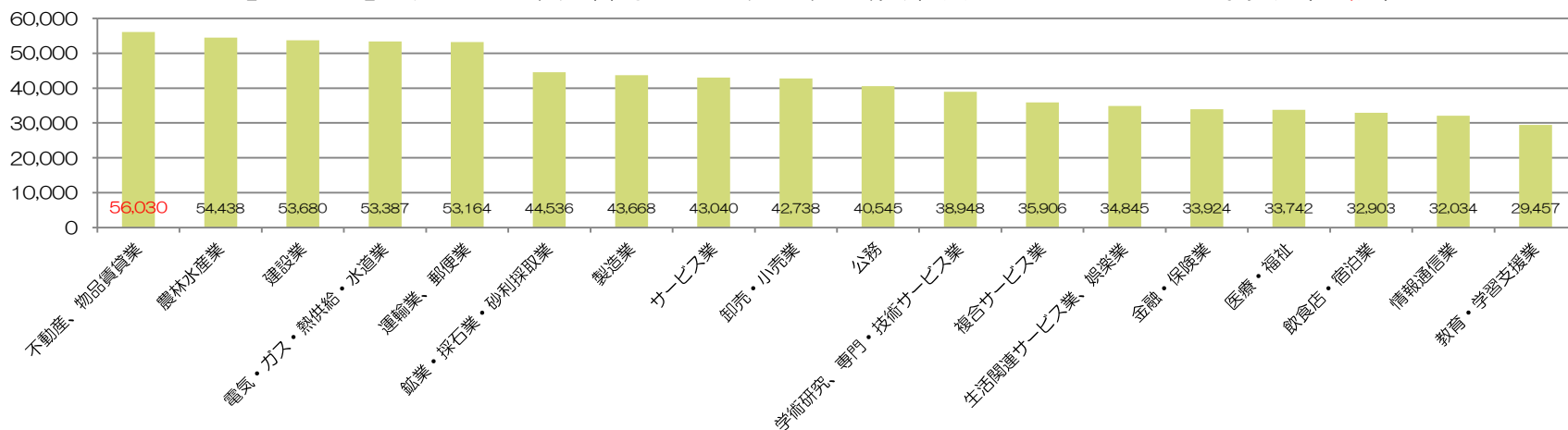


2-2.産業別一人当たり医療費

【図2-3】平成28年度神奈川県産別被保険者一人当たり医療費（外来）

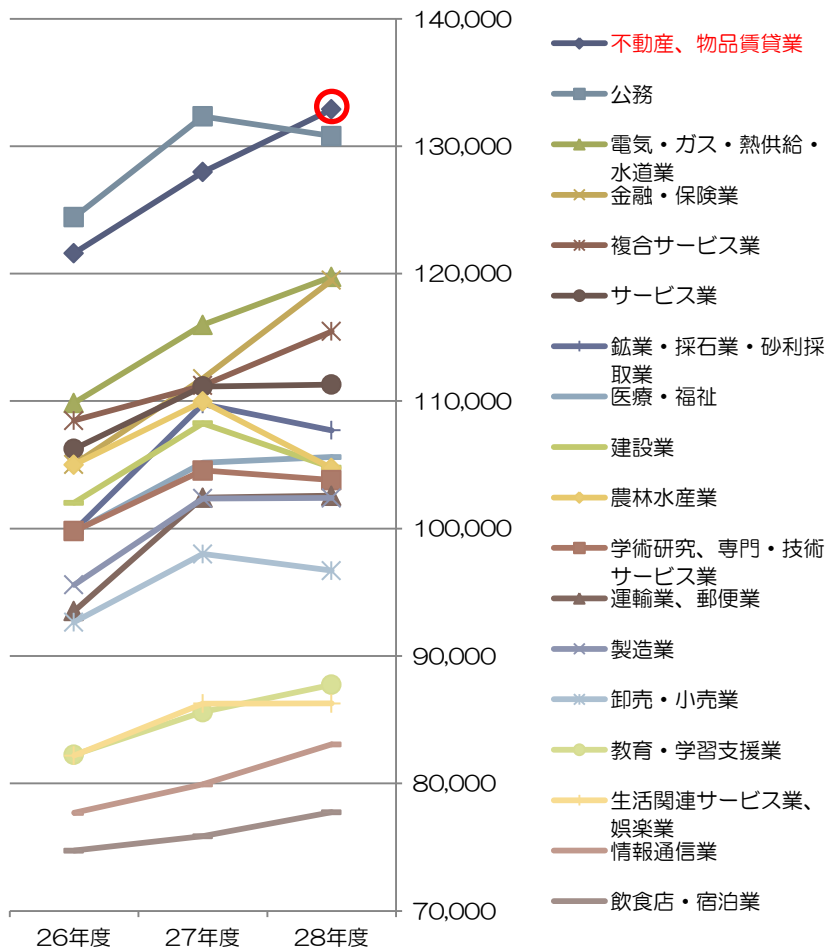


【図2-4】平成28年度神奈川県産別被保険者一人当たり医療費（入院）

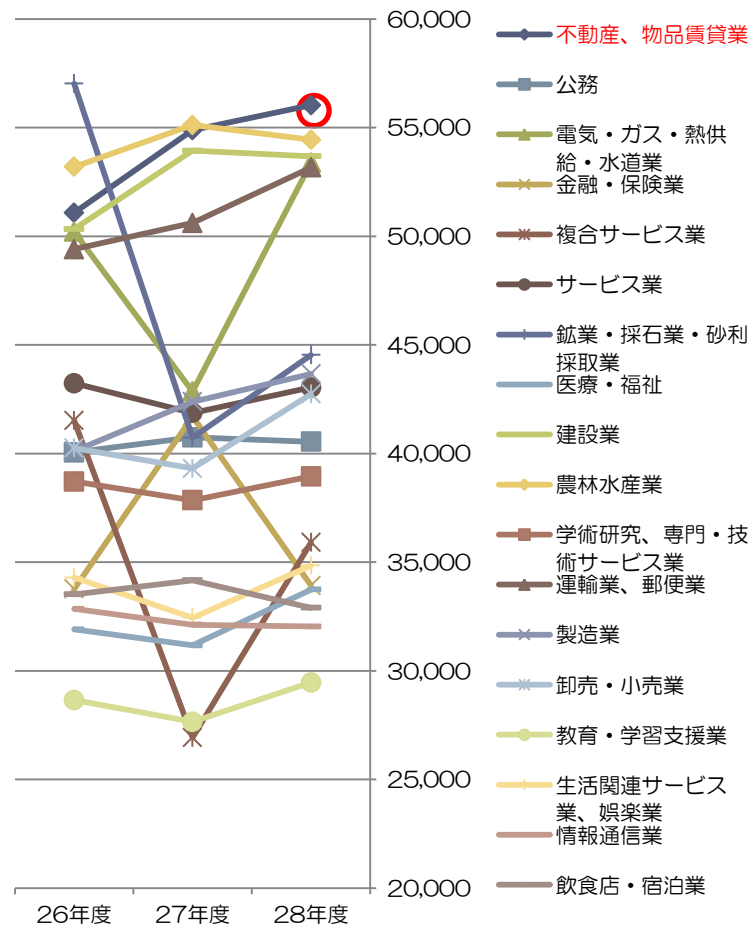


2-2.産業別一人当たり医療費

【図2-5】 神奈川支部産業別被保険者一人当たり医療費（外来）経年推移



【図2-6】 神奈川支部産業別被保険者一人当たり医療費（入院）経年推移

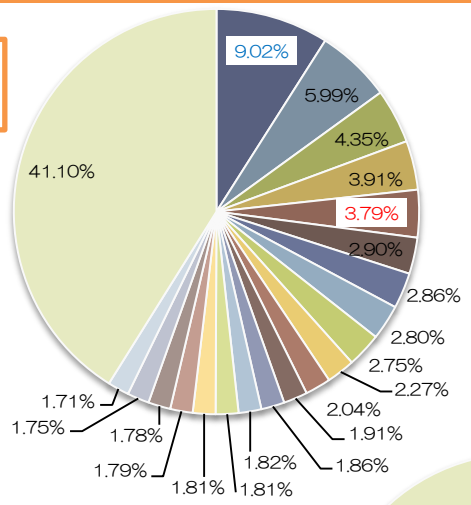


2-3.疾病別医療費(外来)

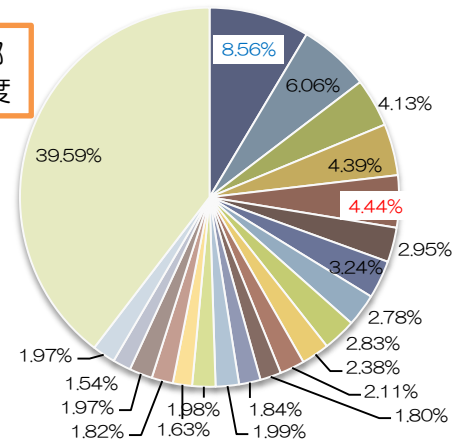
【図2-7】 疾病別レセプト点数割合 (外来)

- 高血圧性疾患
- 喘息
- アレルギー性鼻炎
- 他の皮膚及び皮下組織の疾患
- 他の悪性新生物
- ウイルス肝炎
- 炎症性多発性関節障害
- 糖尿病
- 腎不全
- 他の消化器系の疾患
- 他の神経系の疾患
- 屈折及び調節の障害
- 良性新生物及びその他の新生物
- 胃炎及び十二指腸炎
- 他の内分泌、栄養及び代謝疾患
- 皮膚炎及び湿疹
- 他の急性上気道感染症
- 他の損傷及び他の外因の影響
- 気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)
- 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- その他

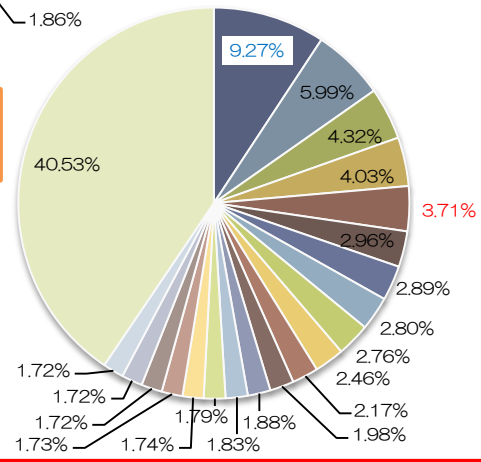
全国
平成28年度



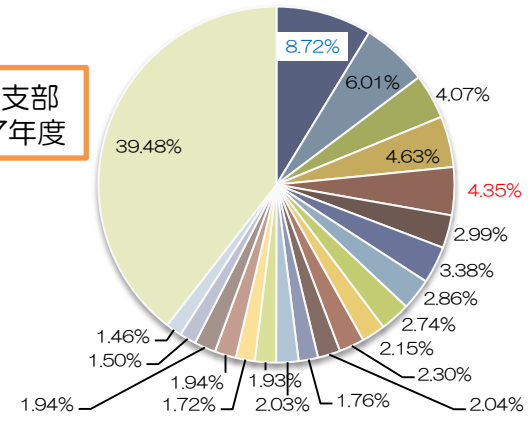
神奈川支部
平成28年度



全国
平成27年度



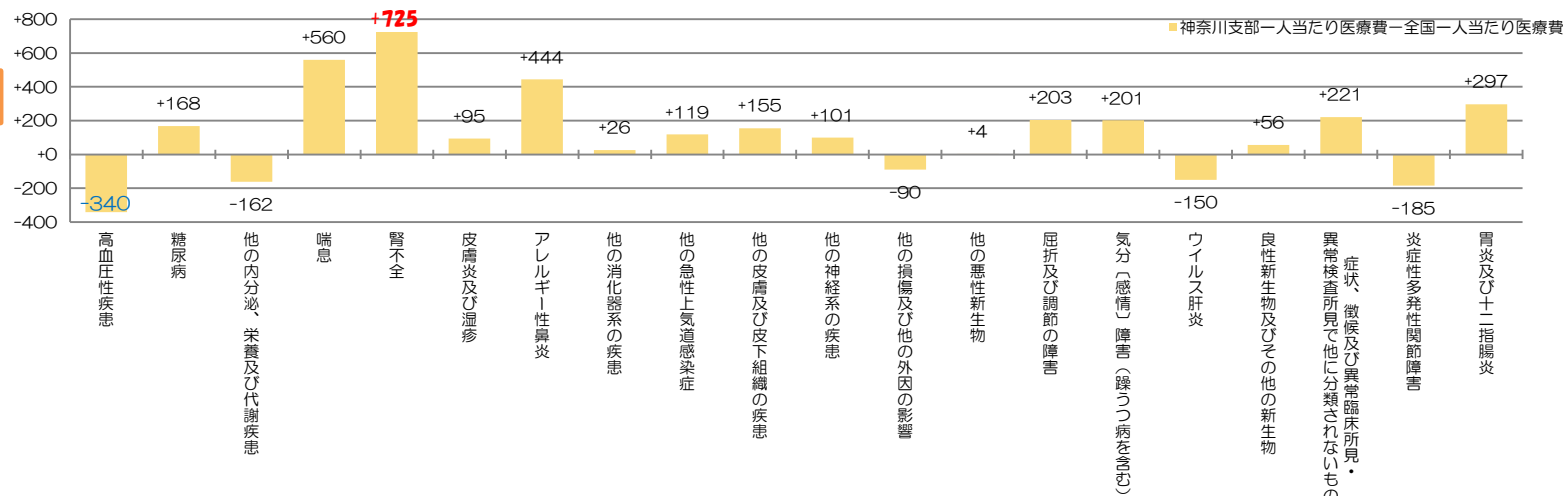
神奈川支部
平成27年度



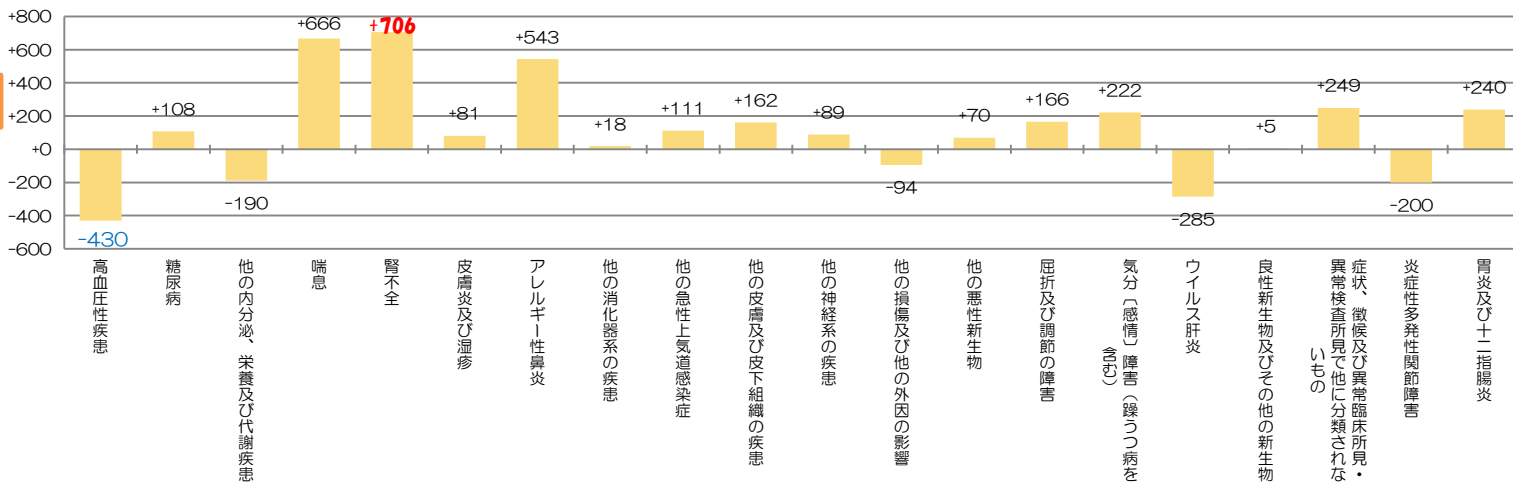
2-3.疾病別医療費(外来)

【図2-8】 トップ20疾病一人当たり医療費差 (外来)

平成28年度

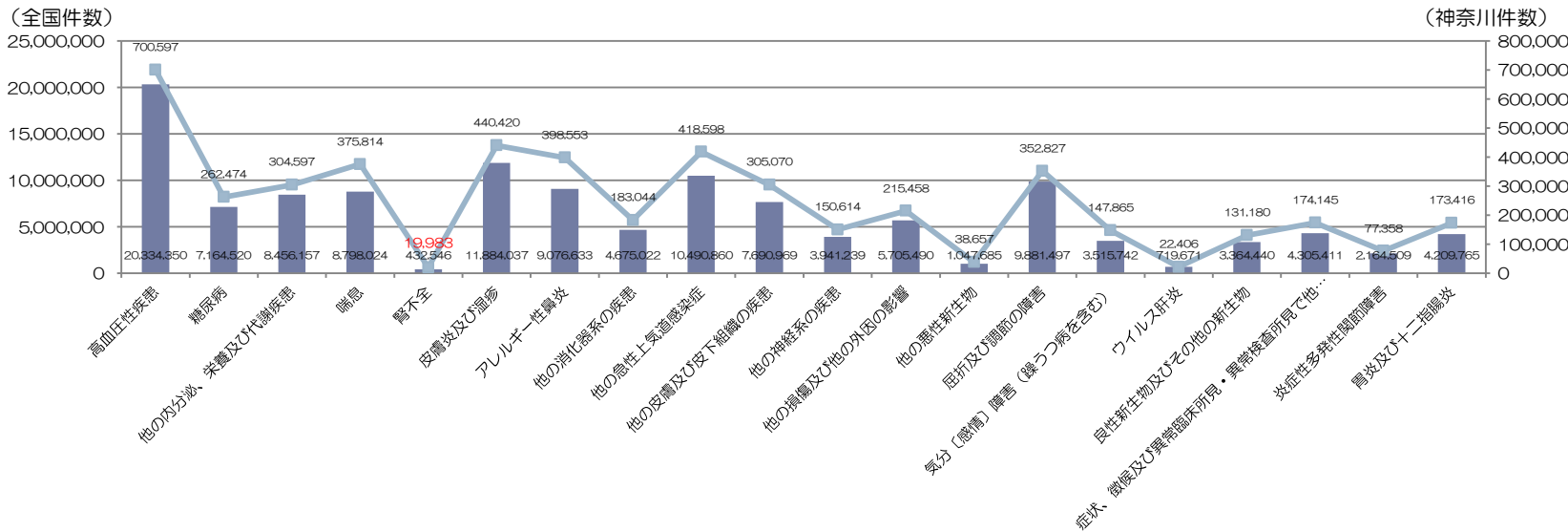
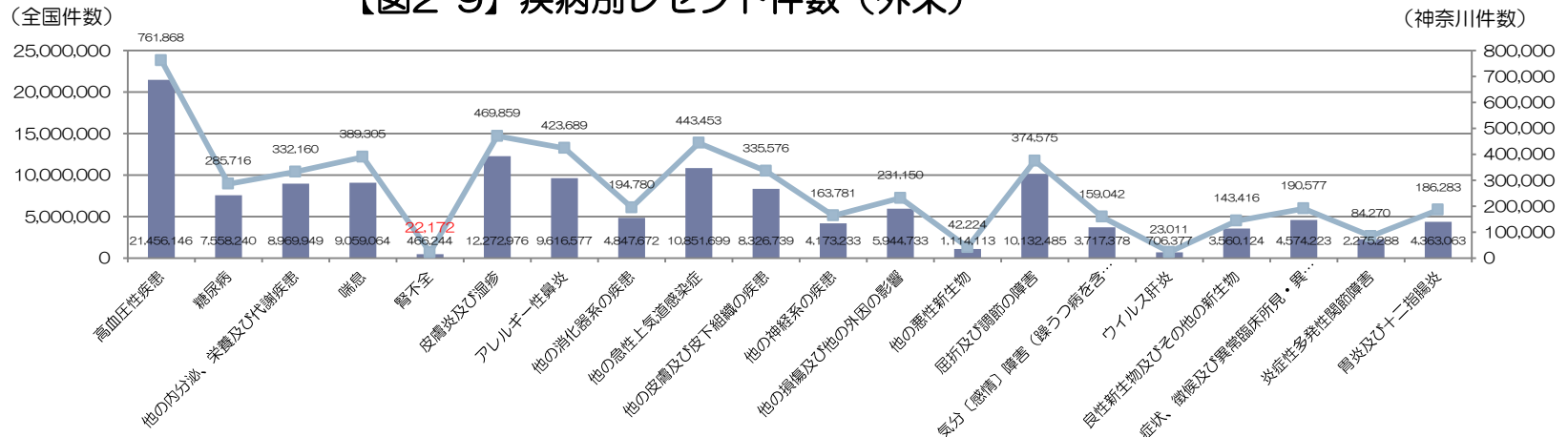


平成27年度



2-3.疾病別医療費(外来)

【図2-9】 疾病別レセプト件数 (外来)

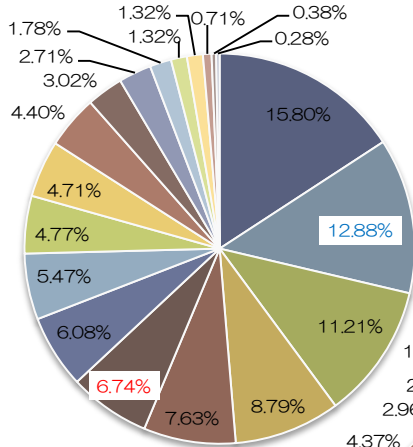


2-3.疾病別医療費(外来)

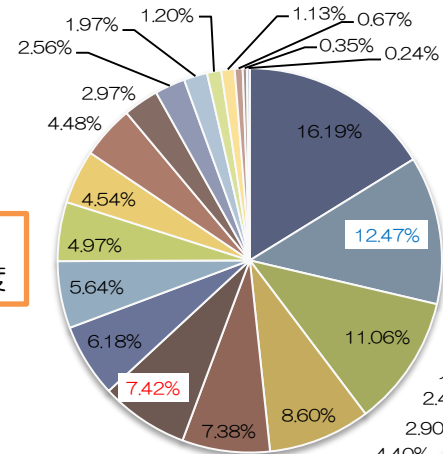
【図2-10】 疾病分類別点数割合 (外来)

- 呼吸器系の疾患
- 新生物
- 消化器系の疾患
- 感染症及び寄生虫症
- 損傷、中毒及びその他の外因の影響
- 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- 妊娠、分娩及び産じょく
- 循環器系の疾患
- 筋骨格系及び結合組織の疾患
- 皮膚及び皮下組織の疾患
- 眼及び付属器の疾患
- 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- 先天奇形、変形及び染色体異常
- 内分泌、栄養及び代謝疾患
- 腎尿路生殖器系の疾患
- 精神及び行動の障害
- 神経系の疾患
- 耳及び乳様突起の疾患
- 周産期に発生した病態

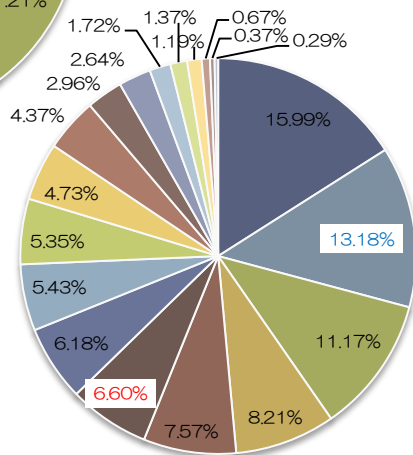
全国
平成28年度



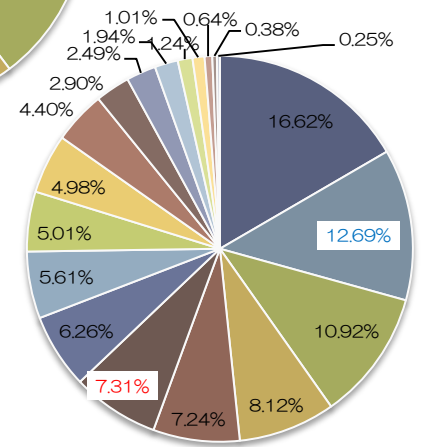
神奈川支部
平成28年度



全国
平成27年度

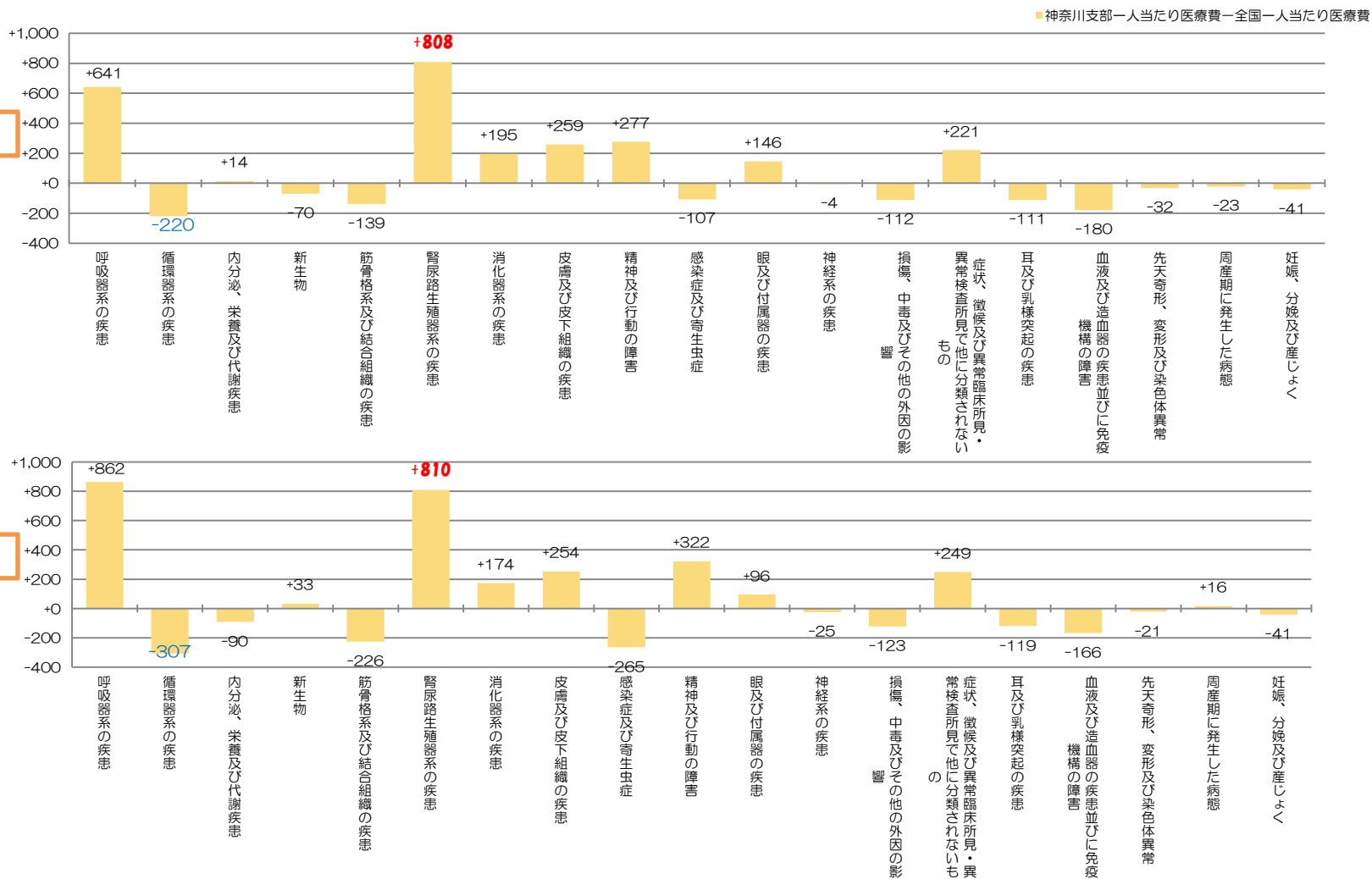


神奈川支部
平成27年度



2-3.疾病別医療費(外来)

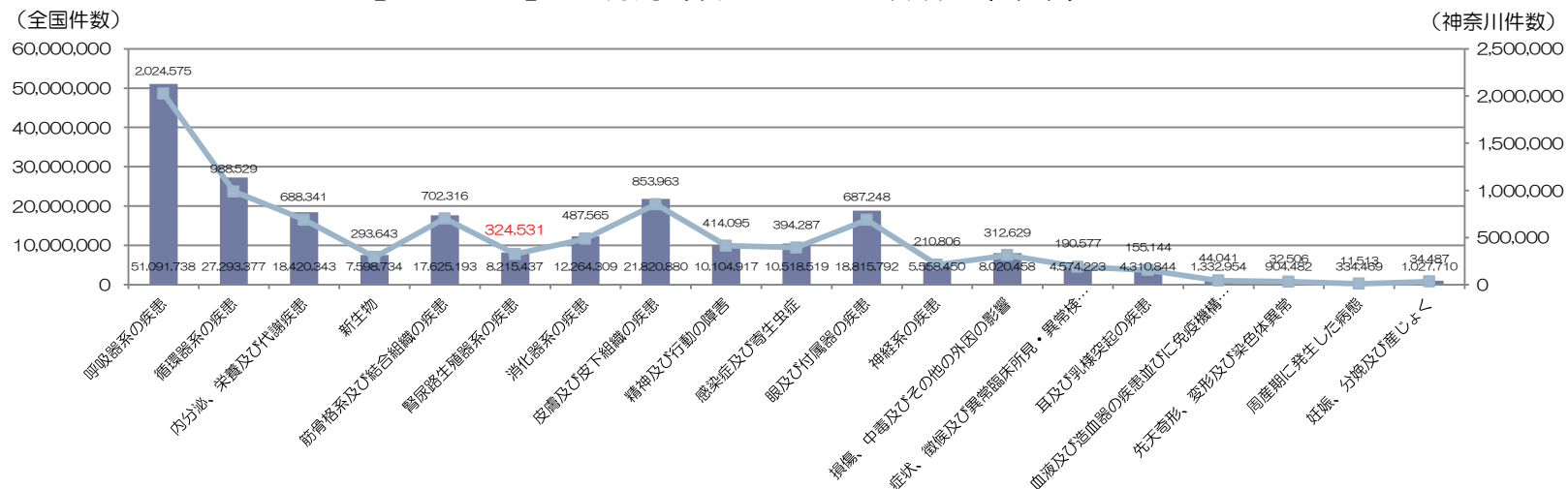
【図2-11】 疾病分類別一人当たり医療費差 (外来)



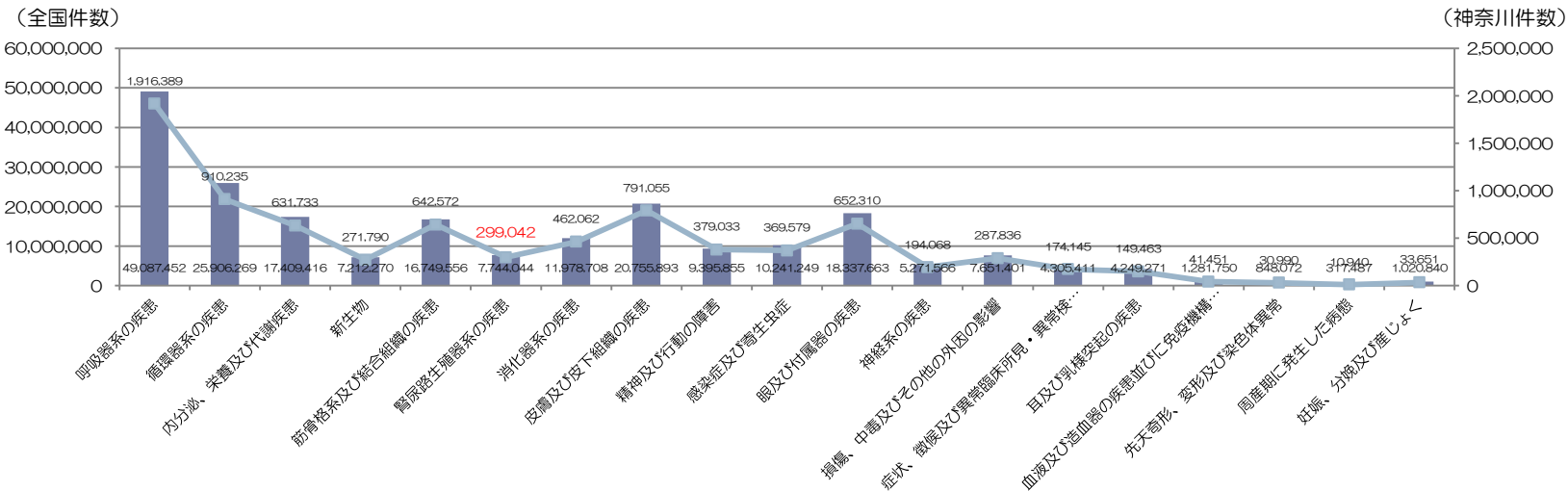
2-3.疾病別医療費(外来)

【図2-12】 疾病分類別レセプト件数(外来)

平成28年度



平成27年度

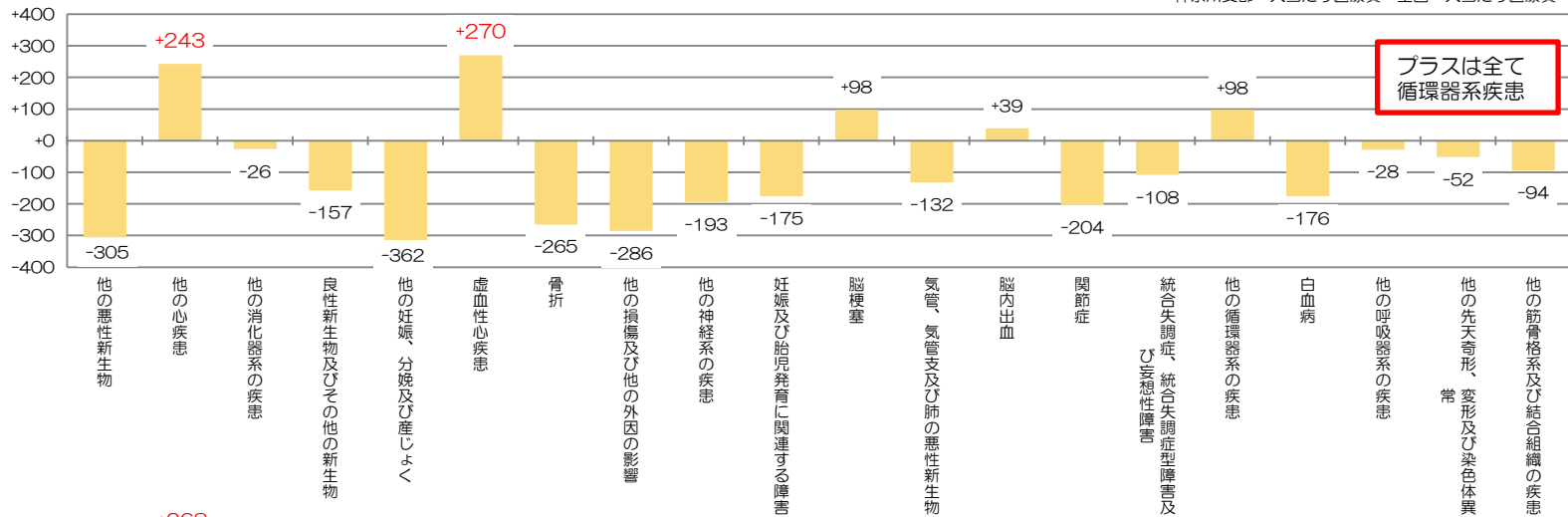


2-4.疾病別医療費(入院)

【図2-14】トップ20疾病一人当たり医療費差(入院)

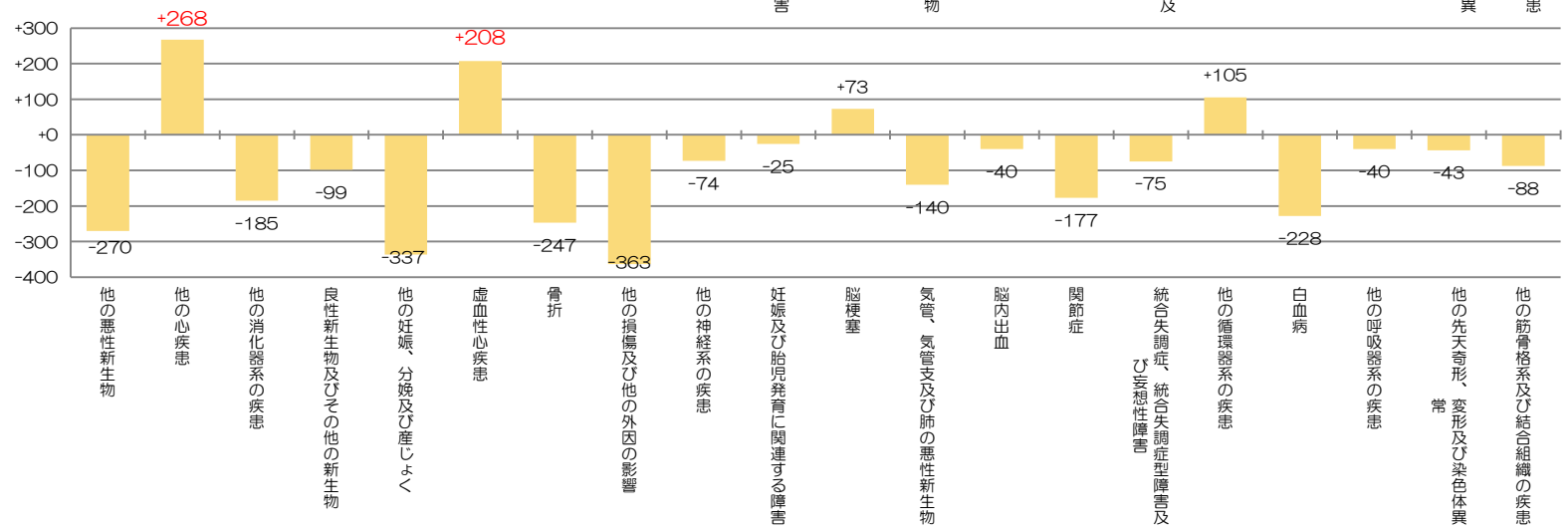
■ 神奈川支部一人当たり医療費 - 全国一人当たり医療費

平成28年度



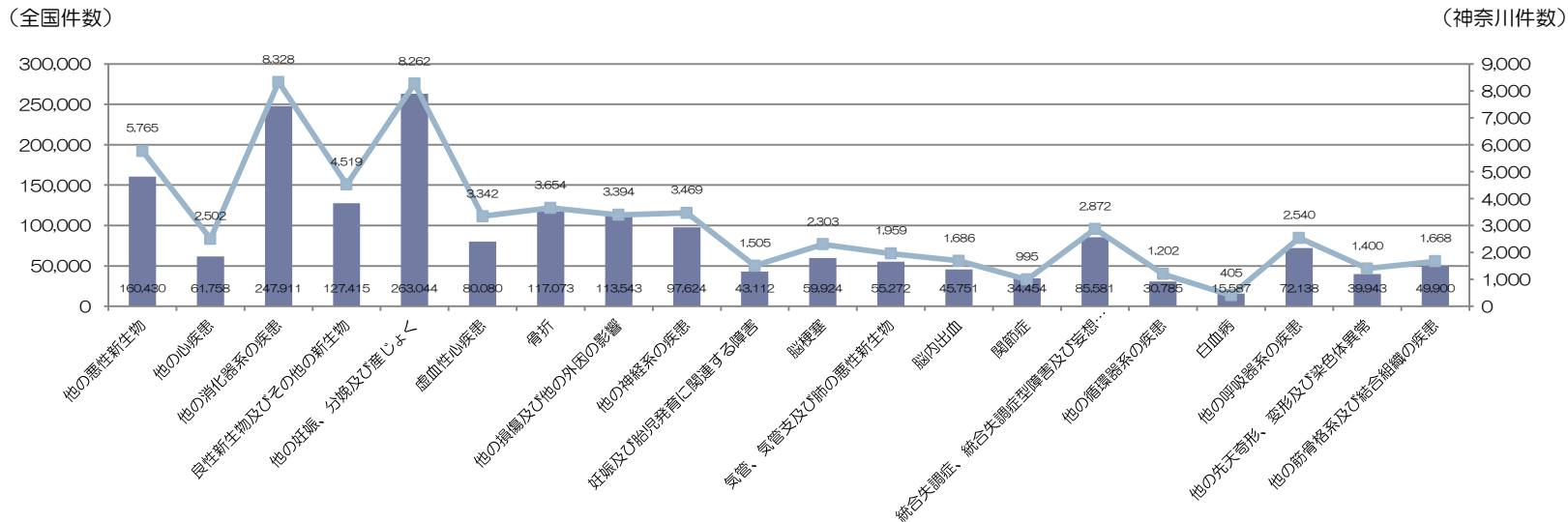
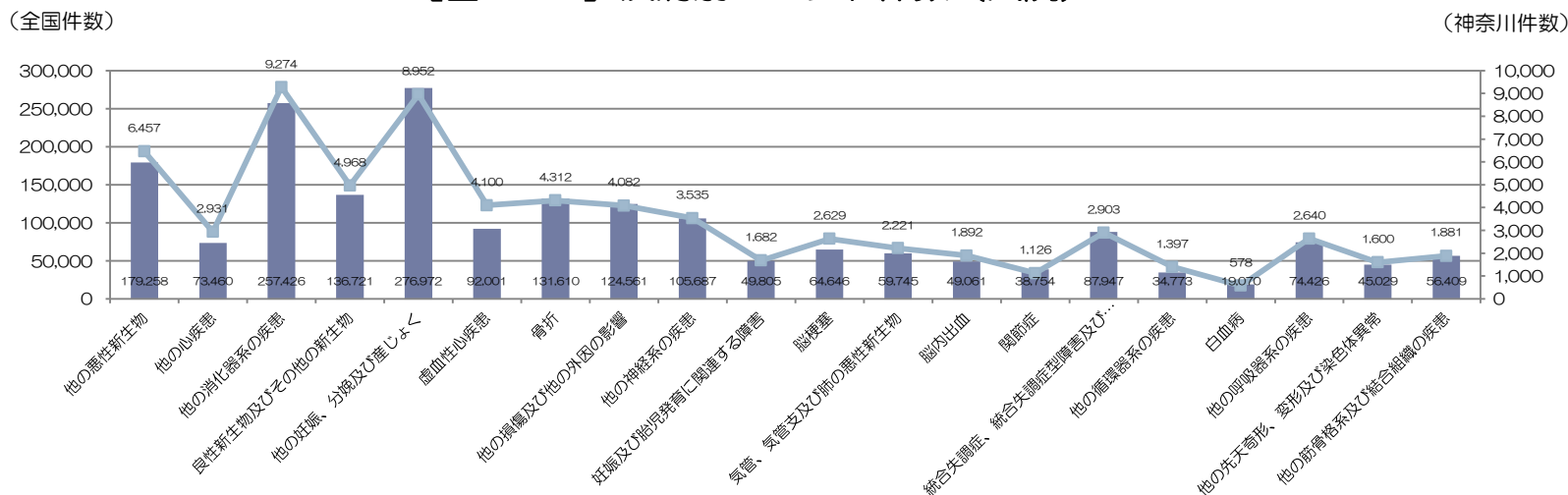
プラスは全て循環器系疾患

平成27年度



2-4.疾病別医療費(入院)

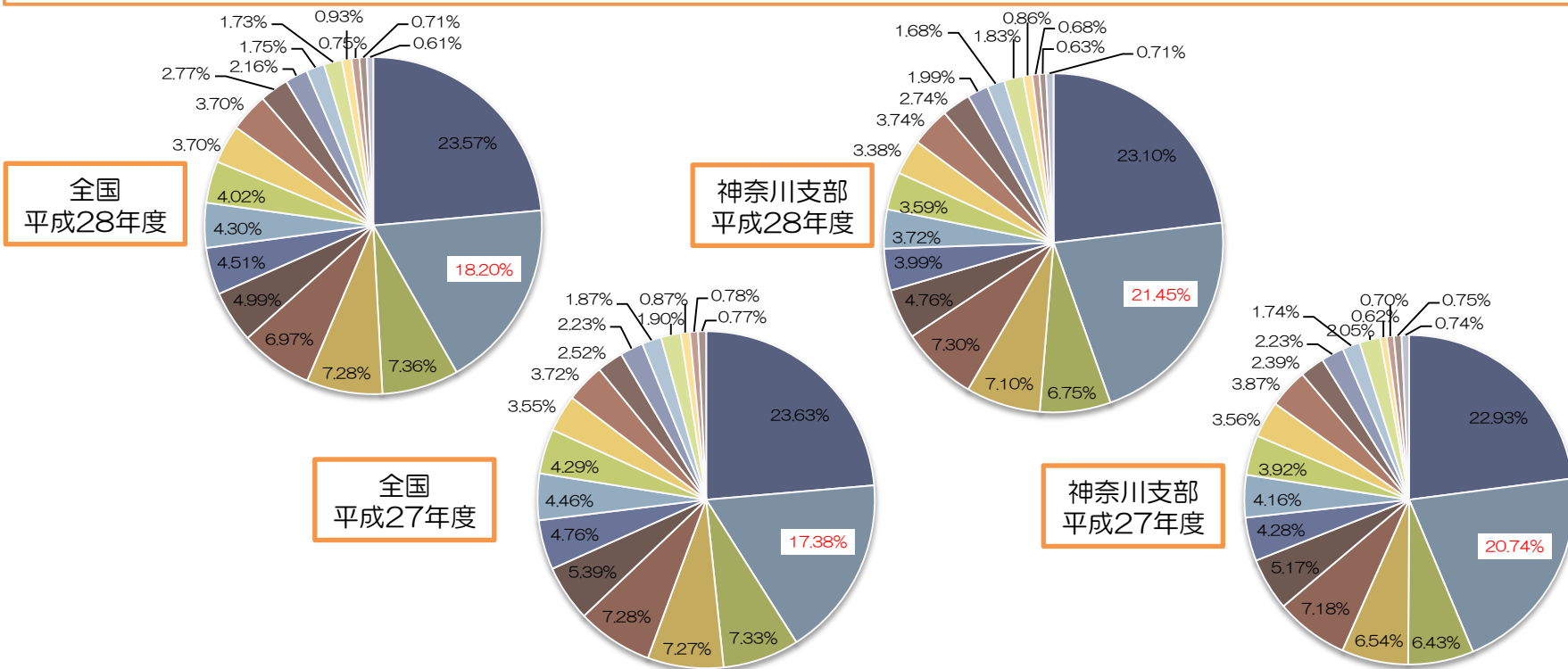
【図2-15】 疾病別レセプト件数(入院)



2-4.疾病別医療費(入院)

【図2-16】 疾病分類別点数割合 (入院)

- 新生物
- 筋骨格系及び結合組織の疾患
- 妊娠、分娩及び産じょく
- 周産期に発生した病態
- 内分泌、栄養及び代謝疾患
- 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- 耳及び乳様突起の疾患
- 循環器系の疾患
- 消化器系の疾患
- 神経系の疾患
- 腎尿路生殖器系の疾患
- 感染症及び寄生虫症
- 皮膚及び皮下組織の疾患
- 損傷、中毒及びその他の外因の影響
- 呼吸器系の疾患
- 精神及び行動の障害
- 先天奇形、変形及び染色体異常
- 眼及び付属器の疾患
- 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの

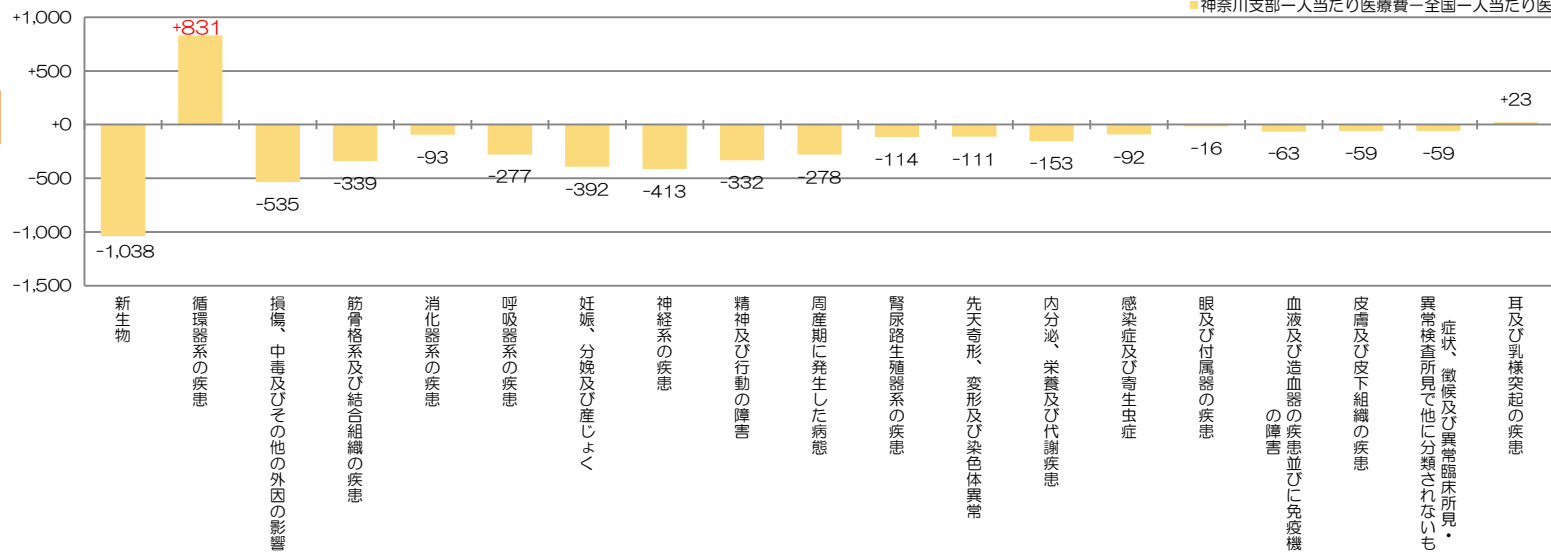


2-4.疾病別医療費(入院)

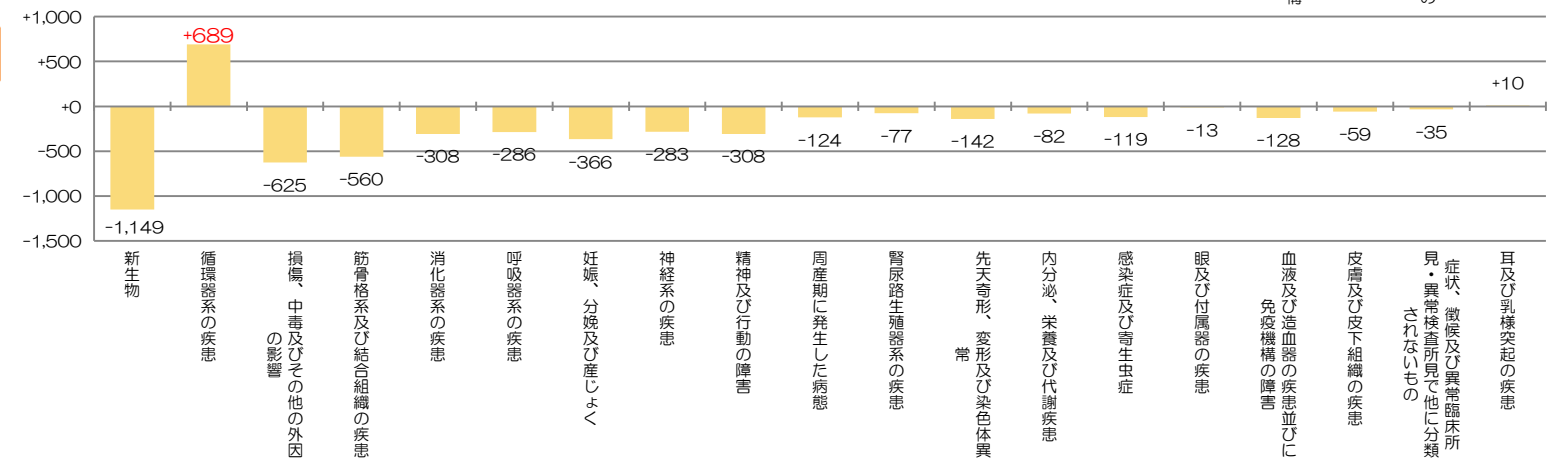
【図2-17】 疾病分類別一人当たり医療費差 (入院)

■ 神奈川支部一人当たり医療費-全国一人当たり医療費

平成28年度

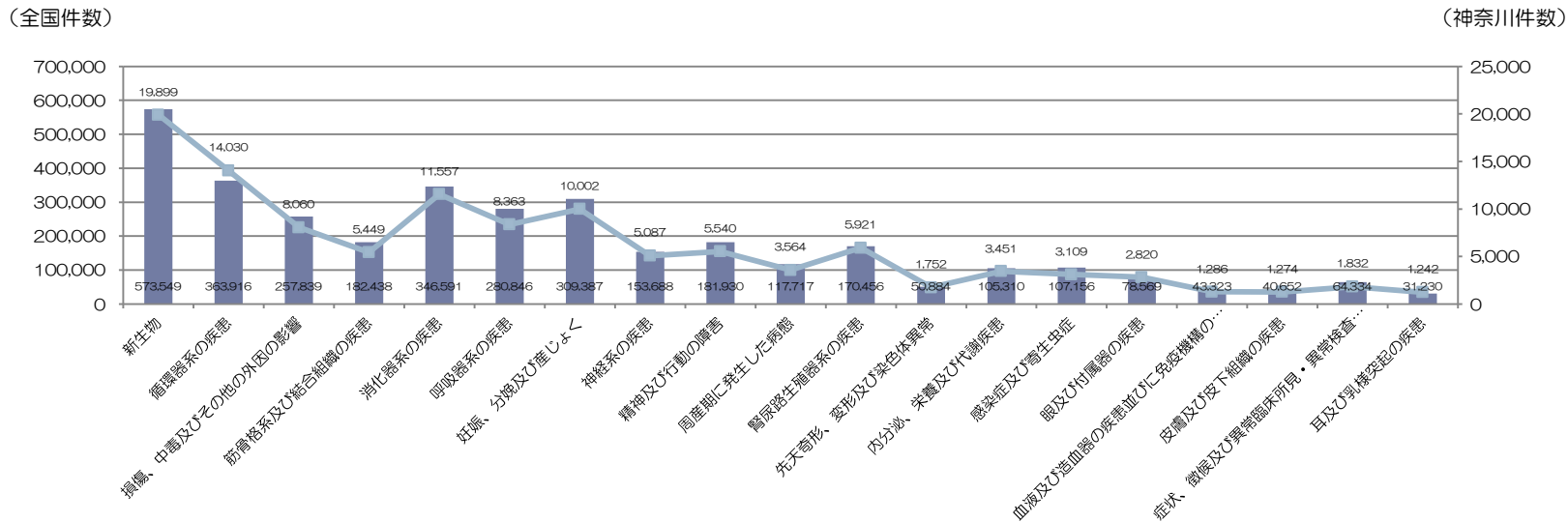
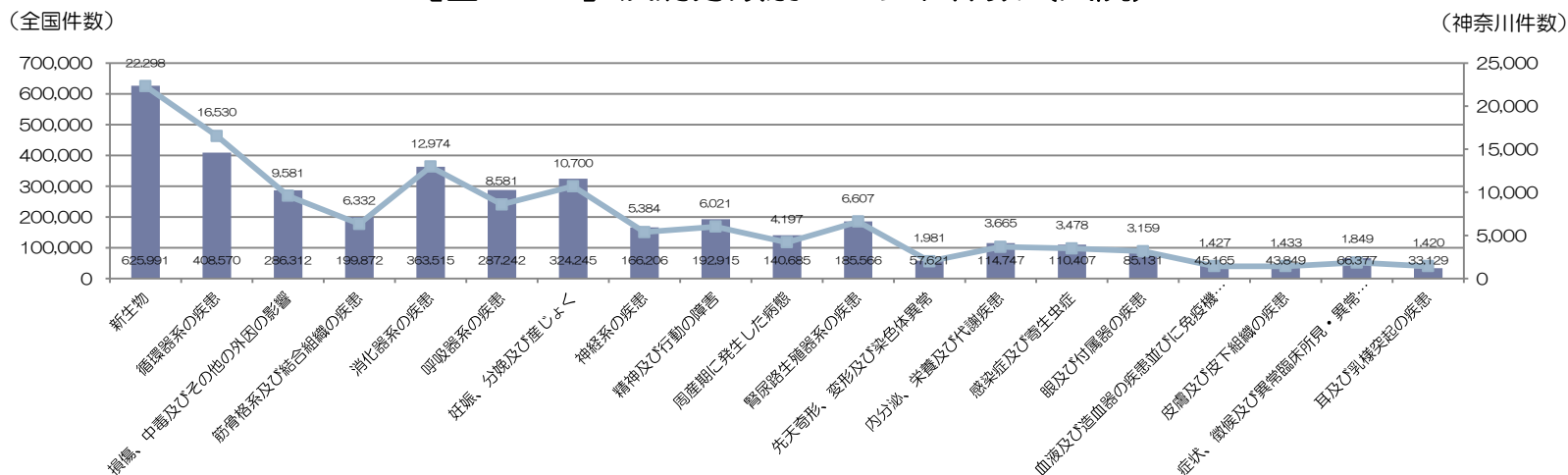


平成27年度



2-4.疾病別医療費(入院)

【図2-18】 疾病分類別レセプト件数 (入院)



3.健診情報(まとめ)

《リスク保有率》

- 男女別にみた場合、女性の喫煙率以外は突出しているところは見受けられないが、全体でみると、27年度・26年度ともに9項目中6項目が全国18位以上の高い位置にいる。【図3-1】【図3-2】

《健診データ》

- 女性の喫煙率及びメタボリックシンドローム該当率が高い。【図3-3】

《問診票データ》

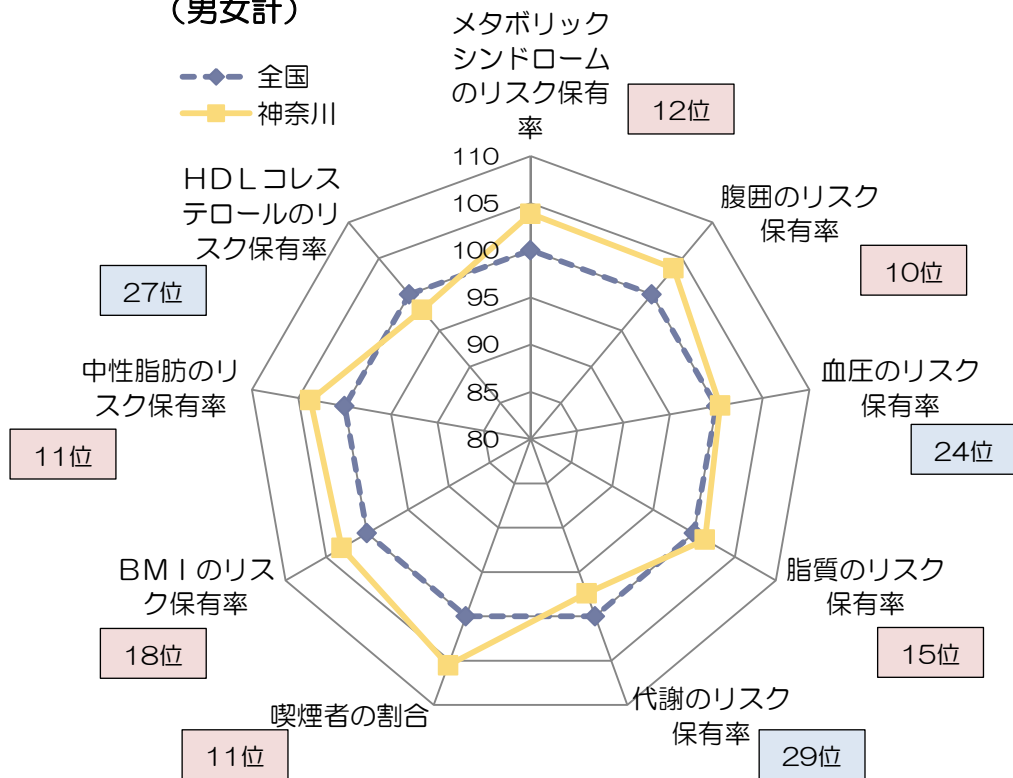
- 就寝前2時間内夕食習慣の割合が全国に比べて男女ともに高い。朝食を抜く習慣の割合が全国に比べ男女ともに高い。【図3-4】

4-1.健診受診者リスク保有率

【図3-1】平成27年度健診受診者リスク保有率

(男女計)

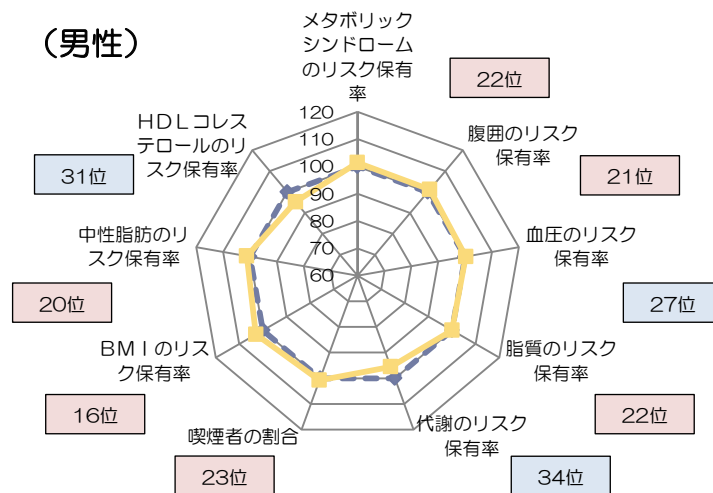
◆ 全国
■ 神奈川



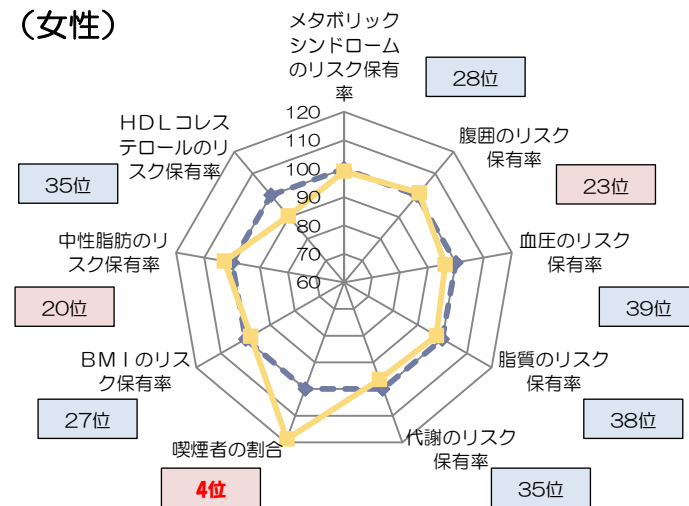
※順位はリスク保有率が高い順で並べたもの
※被保険者対象の健診結果に基づくデータ（被扶養者は含まない）

- 9項目中6項目について上位半数の順位

(男性)



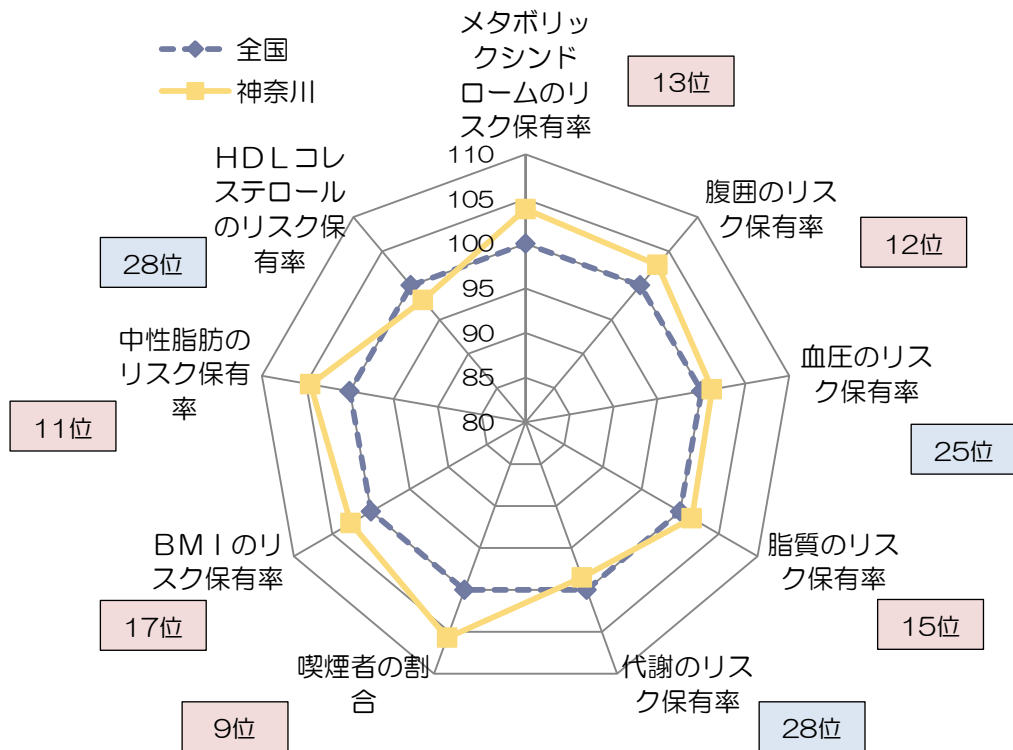
(女性)



4-1.健診受診者リスク保有率

【図3-2】平成26年度健診受診者リスク保有率

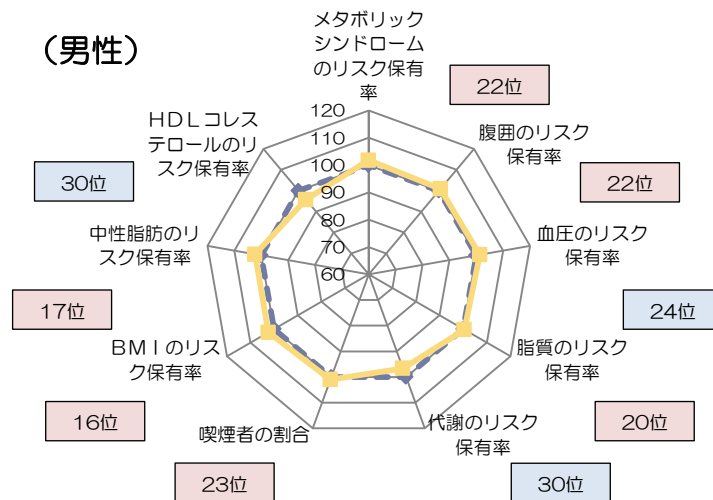
(男女計)



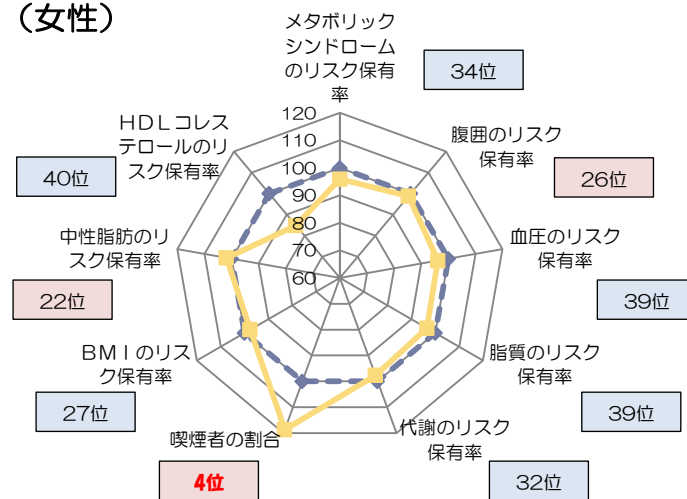
※順位はリスク保有率が高い順で並べたもの
 ※被保険者対象の健診結果に基づくデータ (被扶養者は含まない)

- 9項目中6項目について上位半数の順位

(男性)



(女性)



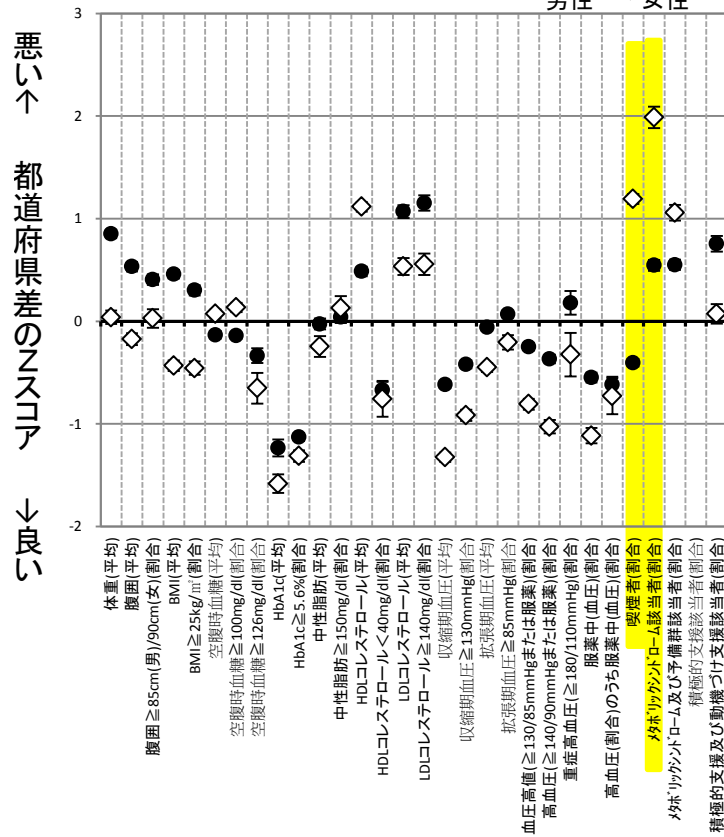
4-2.健診データ特徴

値は年齢調整値に基づく
「都道府県差のZスコア」と標準誤差
Zスコアの解釈(目安):
<-0.5 良い
±0.5 ほぼ平均的
+1.0 上位6分の1
+2.0 ほとんどトップ
+3.0 突出している

【図3-3】 特定健診データの神奈川支部特徴の要約

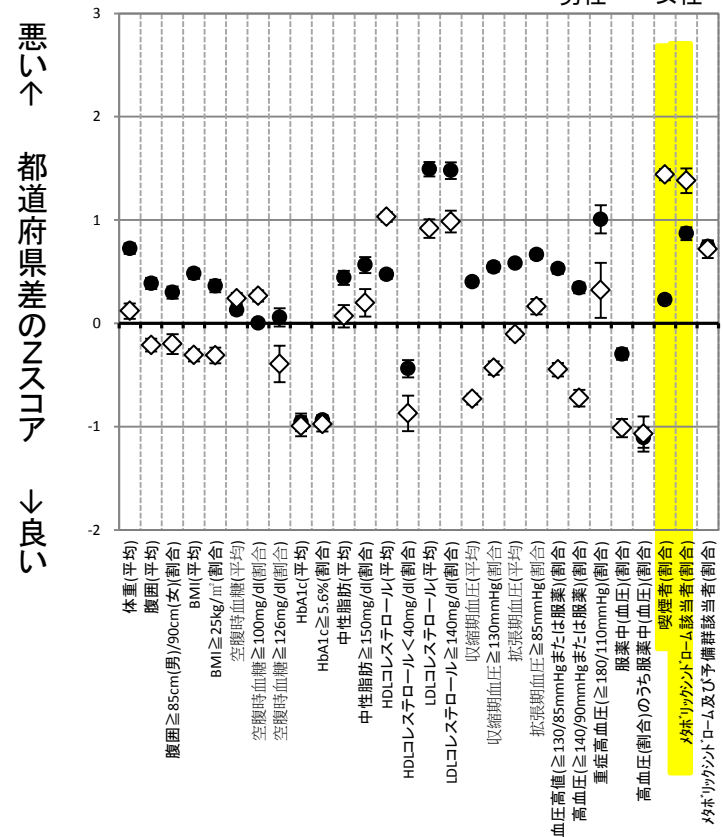
平成27年度

【40-74歳】



平成26年度

【40-74歳】



4-3.問診票データ特徴

【図3-4】 問診票データの神奈川支部特徴の要約

平成27年度

項目	男性対全国比	女性対全国比
服薬（血糖）の割合等	0.96倍	0.89倍
服薬（脂質）の割合等	1.03倍	0.92倍
既往歴（脳血管）の割合等	1.01倍	0.95倍
既往歴（心血管）の割合等	1.03倍	0.89倍
既往歴（腎不全・人工透析）の割合等	0.88倍	0.57倍
貧血の割合等	1.14倍	1.06倍
20歳からの10kg以上体重増加の割合等	1.01倍	0.99倍
30分以上の運動習慣の割合等	1.08倍	1.22倍
1日1時間以上の歩行または身体活動の割合等	1.13倍	1.25倍
同性同年齢と比較した歩行速度速い割合等	1.04倍	1.13倍
1年間の±3kg体重変化の割合等	1.08倍	1.10倍
就寝前2時間内夕食習慣の割合等	1.10倍	1.19倍
夕食後の間食習慣の割合等	0.97倍	0.90倍
朝食を抜く習慣の割合等	1.10倍	1.16倍
睡眠で休養十分の割合等	0.98倍	0.98倍
保健指導の希望の割合等	0.98倍	0.97倍

平成26年度

項目	男性対全国比	女性対全国比
服薬（血糖）の割合等	0.95倍	0.87倍
服薬（脂質）の割合等	1.03倍	0.92倍
既往歴（脳血管）の割合等	0.97倍	0.83倍
既往歴（心血管）の割合等	1.03倍	0.89倍
既往歴（腎不全・人工透析）の割合等	0.89倍	0.65倍
貧血の割合等	1.16倍	1.04倍
20歳からの10kg以上体重増加の割合等	1.02倍	1.00倍
30分以上の運動習慣の割合等	1.08倍	1.20倍
1日1時間以上の歩行または身体活動の割合等	1.12倍	1.25倍
同性同年齢と比較した歩行速度速い割合等	1.05倍	1.14倍
1年間の±3kg体重変化の割合等	1.08倍	1.09倍
就寝前2時間内夕食習慣の割合等	1.10倍	1.21倍
夕食後の間食習慣の割合等	0.94倍	0.93倍
朝食を抜く習慣の割合等	1.10倍	1.18倍
睡眠で休養十分の割合等	0.99倍	0.99倍
保健指導の希望の割合等	0.98倍	0.95倍